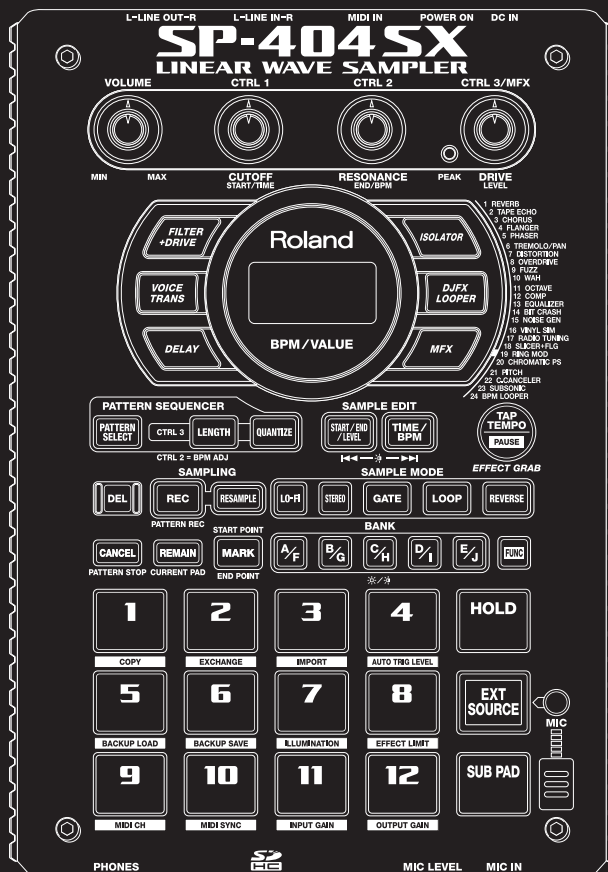


SP-404SX

LINEAR WAVE SAMPLER

取扱説明書



Roland

主な特長

スピーディー&カンタンにサンプリング!!

内蔵マイクと電池駆動でいつでもどこでもサンプリングできます。
もちろん、ラインとマイク入力も装備しています。



超強力な内蔵エフェクター!!

スタンダードなフィルターやディレイはもちろん、ボイス・トランスフォーマーや DJ FX ルーパーなどの強力なエフェクターを含む 29 種類の DSP エフェクトを搭載しています。

ライブ・パフォーマンスでは音切れなくエフェクターを切り替えることができます。



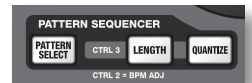
パフォーマンスに最適!!

ラバータッチの 3 つのツマミ、12 個のパッドに加えて、直前に叩いたパッドを記憶し同じサンプルを連打で演奏できるサブ・パッドを搭載しています。



曲を作るシーケンサー搭載!!

パッドの演奏をリアルタイムに記録し再生するパターン・シーケンサーを搭載。シャッフルを含むクオンタイズも可能です。



SD カードを内蔵!!

お買い上げ時から内蔵されている SD カードですぐにサンプリングできます。また、大容量の 32GB までの SDHC カードに対応します。

パソコン (Windows / Mac OS) で動作する専用ソフトで、パソコンの波形をカンタンに SD カードに取り込んで SP-404SX のパッドに割り当てることができます (P. 22)。



©2009 ローランド株式会社 本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.51)と「使用上のご注意」(P.52)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

目次

主な特長	2
------	---

各部の名称とはたらき	4
------------	---

電池について	6
--------	---

基本操作編 7

ご使用前の準備	8
---------	---

SP-404SX をスピーカーにつなぐ	8
---------------------	---

電源を入れる	9
--------	---

SD カードを挿す	10
-----------	----

音を鳴らす	11
-------	----

サンプルを再生する	11
-----------	----

エフェクトをかける	13
-----------	----

パターンを再生する	14
-----------	----

テンポを変更する	15
----------	----

サンプリング（録音）する ～基本編～	16
--------------------	----

ステップ 1：サンプリングする機材をつなぐ	16
-----------------------	----

ステップ 2：サンプリングする	18
-----------------	----

サンプルを削除する	21
-----------	----

パソコンの WAVE ファイルを読み込む	22
----------------------	----

応用編 23

外部入力の音を鳴らす	24
------------	----

EXT SOURCE の音量を調節する	24
---------------------	----

サンプリングする ～応用編～	25
----------------	----

サンプリング可能な時間	25
-------------	----

サンプリング・データの種類を決める	25
-------------------	----

自動的にサンプリングをスタートする （オート・サンプリング）	25
-----------------------------------	----

テンポを決めてサンプリングする	25
-----------------	----

カウントインを使う	26
-----------	----

リサンプリングする	26
-----------	----

サンプルのエディット	27
------------	----

サンプルの音量を設定する	27
--------------	----

サンプルの再生範囲を調節する	27
----------------	----

サンプルの不要な部分を消去する（トランケート）	29
-------------------------	----

サンプルの BPM を変更する	30
-----------------	----

ピッチを変えずにサンプルの長さを変更する （タイム・モディファイ）	30
--------------------------------------	----

サンプルの一括削除	30
-----------	----

2 つのパッドのサンプルを入れ替える	31
--------------------	----

サンプルを別のパッドにコピーする	31
------------------	----

パターン・シーケンサー	32
-------------	----

パターンを録音する	32
-----------	----

パターンを削除する	34
-----------	----

パターンの一括削除	34
-----------	----

2 つのパッドのパターンを入れ替える	34
--------------------	----

パターンを別のパッドにコピーする	34
------------------	----

SD カードについて	35
------------	----

SD カードのフォーマット（初期化）	35
--------------------	----

WAVE ファイルのエクスポート	35
------------------	----

WAVE ファイルのインポート	36
-----------------	----

バックアップ・データを保存する （バックアップ・セーブ）	37
---------------------------------	----

バックアップ・データを読み込む （バックアップ・ロード）	37
---------------------------------	----

バックアップ・データを削除する （バックアップ・デリート）	37
----------------------------------	----

プロテクト機能について	38
-------------	----

その他の機能について	39
------------	----

ファンクション機能一覧表	39
--------------	----

入力ゲインを調整する	39
------------	----

出力ゲインを調整する	39
------------	----

工場出荷時の状態に戻す （ファクトリー・リセット）	40
------------------------------	----

ディスプレイ・イルミネーションとスリープの 設定をする	40
--------------------------------	----

バージョン情報を確認する	40
--------------	----

資料編 41

エフェクト一覧	42
---------	----

エフェクト・リミット・モード	42
----------------	----

エラーメッセージ一覧	45
------------	----

トラブルシューティング	45
-------------	----

MIDI について	47
-----------	----

MIDI インプリメンテーション・チャート	48
-----------------------	----

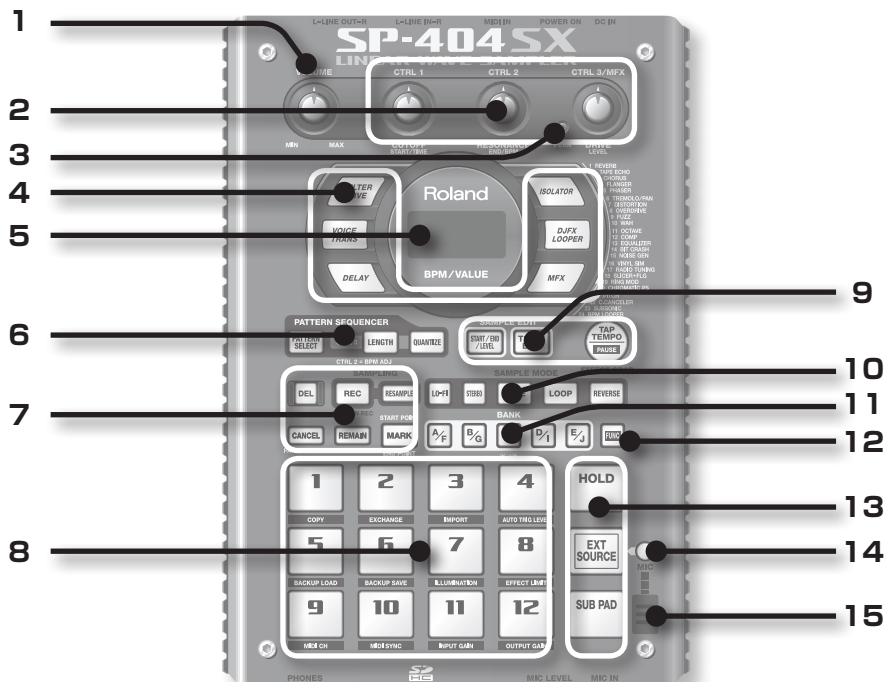
主な仕様	49
------	----

索引	50
----	----

安全上のご注意	51
---------	----

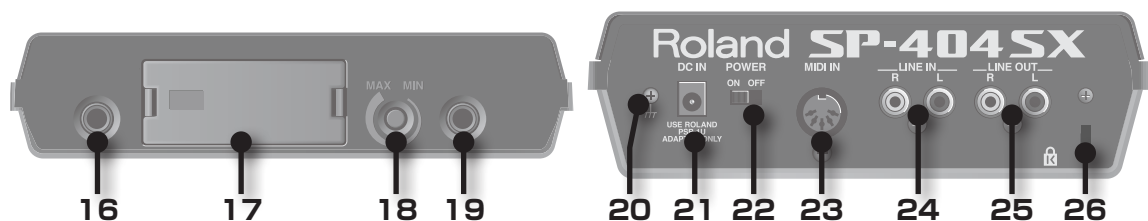
使用上のご注意	52
---------	----

各部の名称とはたらき



名前	説明	ページ
1	[VOLUME] つまみ 音量を調節します。	P. 9
2	[CTRL 1] ~ [CTRL 3] つまみ エフェクトのパラメーターをコントロールします。 各つまみは、以下の設定をするのにも使います。	P. 13
	CTRL 1 サンプルの発音開始位置 サンプルの再生時間	P. 29 P. 30
	CTRL 2 パターンの BPM (テンポ) サンプルの発音終了位置	P. 15 P. 29
3	CTRL 3 / MFX MFX の種類の選択 サンプリング・レベル サンプルの再生音量	P. 13 P. 19 P. 27
	3 PEAK ランプ LINE IN 端子のアナログ入力レベルを確認します。 このランプがときどき点灯する程度に接続機器のボリュームを調節してください。	P. 19
	4 エフェクト・ボタン 使用するエフェクトを選びます。	P. 13
5	ディスプレイ BPM (テンポ)、各設定の値、エラー・メッセージ (P. 45) などを表示します。	
	ディスプレイ・イルミネーション パターンのテンポに同期して点滅します。 サンプリング時に、オーディオ信号レベルがオーバーすると赤く点灯します。	P. 40 P. 19
6	[PATTERN SELECT] ボタン パターンを再生／録音するときに押します。	P. 14
	[LENGTH] ボタン パターン録音時のパターンの長さを設定します。	P. 32
	[QUANTIZE] ボタン パターン録音時のタイミング自動補正 (クオンタイズ) の設定をします。	P. 32
	[DEL] ボタン サンプルやパターンを消去します。	P. 21
7	[REC] ボタン サンプリングやパターン録音の開始／終了をします。	P. 18
	[RESAMPLE] ボタン サンプルの音にエフェクトをかけて再度サンプリング (リサンプリング) します。	P. 26
	[CANCEL] ボタン サンプリング、パターンの再生、録音などの操作を止めることができます。 このボタンをすばやく 4 回押すと、発音しているすべての音を止めることができます。	P. 12
	[REMAIN] ボタン ディスプレイにサンプリング可能な残り時間を表示します。 また、このボタンを押しながらパッドを押すと、エフェクトをかけるサンプルや、設定を変更したいサンプルを選ぶことができます (カレント・パッドの変更)。	P. 25 P. 13
	[MARK] ボタン サンプリングした音の一部だけを発音させるときに使います。	P. 27

名前	説明	ページ
8	[1] ~ [12] パッド パッドを押すと、パッドに割り当てられているサンプルが鳴ります。 [PATTERN SELECT] ボタンが点灯しているときは、パターンを選択を行います。	P. 11 P. 14
	[START / END / LEVEL] ボタン サンプルの発音開始 / 終了位置や音量を変更するときに使います。	P. 27
9	[TIME / BPM] ボタン サンプルの再生時間や BPM (テンポ) を設定するときに使います。	P. 15
	[TAP TEMPO] ボタン テンポに合わせてこのボタンを数回押すことで、テンポを変えることができます。 [FUNC] ボタンを押しながら [TAP TEMPO] (PAUSE) ボタンを押すと、発音を一時停止することができます。	P. 15 P. 12
	[LO-FI] ボタン サンプルの再生音質 (スタンダード / ローファイ) を切り替えます。	P. 12
	[STEREO] ボタン モノラルでサンプリングするかステレオでサンプリングするかを切り替えます。	P. 18
10	[GATE] ボタン パッドを押している間だけサンプルが発音するゲート再生と、パッドを押すたびに発音と発音停止を繰り返すトリガー再生を切り替えます。	P. 12
	[LOOP] ボタン パッドを押したとき、サンプルを繰り返し鳴らすループ再生と一度だけ鳴らすワン・ショット再生を切り替えます。	P. 12
	[REVERSE] ボタン サンプルを逆方向に再生させるリバース再生に切り替えることができます。	P. 12
11	[BANK] ボタン サンプルやパターンのバンクを切り替えます。	P. 11
12	[FUNC] ボタン 各種設定を行います。	P. 39
	[HOLD] パッド パッドから指を離してもサンプルを鳴らし続けることができます。	P. 12
13	[EXT SOURCE] パッド 外部 (ラインやマイク) 入力の音を鳴らします。	P. 24
	[SUB PAD] パッド 直前に叩いたパッドのサンプル音を鳴らすことができます。	P. 12
14	[MIC] ボタン マイク入力のオン / オフを切り替えます。	P. 17
15	内蔵マイク 内蔵マイクです。MIC IN 端子にマイク (別売) を接続すると、内蔵マイクは機能しなくなります。	P. 17



名前	説明	ページ
16	PHONES 端子 ヘッドホンを接続します。LINE OUT 端子と同じ音を聴くことができます。	P. 8
17	SD カード・スロット SD カードを挿入します。SD カード・スロットにはカバーが付いていて、工場出荷時にはカバーはネジで固定されています『カード・カバーを外すには GARD LOCK ネジを外してください!!』(P.10) に記載の方法でネジを外してください。	P. 10
18	[MIC LEVEL] つまみ 内蔵マイクや MIC IN 端子に接続したマイクの音量を調節します。	P. 19
19	MIC IN 端子 マイク (別売) を接続します。	P. 17
20	機能接地端子 必要に応じて外部のアースに接地します。	P. 8
21	DC IN ジャック 付属の AC アダプターを接続します。	P. 8
22	[POWER] スイッチ 電源をオン / オフします。	P. 9
23	MIDI IN 端子 MIDI 機器を接続します。	P. 47
24	LINE IN 端子 携帯音楽プレーヤーなど、サンプリングする機器を接続します。	P. 16
25	LINE OUT 端子 アンプ内蔵スピーカーやミキサーなどを接続します。	P. 8
26	盗難防止用ロック (K SECURITY LOCK) 市販の盗難防止用セキュリティ・ワイヤーなどを接続することができます。 http:// www.kensington.com /	

電池について

本体底面の電池ケースのフタを外し、電池ケース内に表記してある図を確認して、向き（極性）を間違えないように電池を入れてください。電池を入れたら、確実にフタを閉めてください。

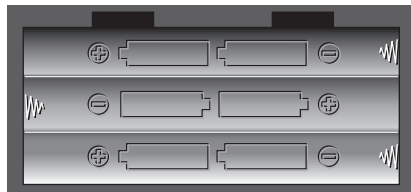
ご注意

● 電池の取り扱いについて

電池／充電電池／充電器は、間違った取り扱いをすると、液もれ・発熱・発火・破裂などの危険があります。ご使用前に、電池／充電電池／充電器に付属の注意事項を必ず最後まで読み、注意事項を守って正しくお使いください。

充電電池／充電器は、必ず電池メーカーで指定された充電電池と充電器の組み合わせでお使いください。

- 本体を裏返す際は、ボタン、つまみなどを破損しないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。また、その際、ボタン、つまみなどが破損しないような位置に配置してください。



電池の容量が残り少なくなると…

電池の容量が残り少なくなると、ディスプレイ・イルミネーションが消灯し、ディスプレイ右下のドットと [FUNC] ボタンが点滅します。さらに電池容量が無くなると、ディスプレイに「L0」と表示され、すべての操作ができなくなります。このようになったら、すぐに電池を交換してください。

メモ

電池容量が少なくなると、[VOLUME] つまみの位置によっては音がひずむ場合があります。このようなときも、電池を交換してください。

SP-404SX で使用できる電池の種類

SP-404SX は以下の電池を使用できます。それ以外の電池は使用しないでください。

- 単 3 型アルカリ乾電池
- 単 3 型充電式ニッケル水素電池



使用する電池を設定する

使用する電池（アルカリ乾電池／充電式ニッケル水素電池）の設定をします。ここで設定した値に従って SP-404SX は電池の残り容量を計算します。

1. [FUNC] ボタンを押しながら、電源を入れます。
2. [CTRL 3] つまみを回して、使用する電池を選びます。

つまみを回すと、[REC] ボタンが点滅します。

設定	説明
AL	アルカリ乾電池
Ni	充電式ニッケル水素電池

3. [REC] ボタンを押して決定します。

メモ

電源を切った後も、この設定は変わりません。

電池の残り容量を確認する

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。

点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。

2. [REMAIN] ボタンを押します。

押している間、BANK ボタンの点灯数で電池の残り容量が表示されます。BANK [A / F] ボタンのみが点灯している場合は電池を交換してください。その後しばらくすると、ディスプレイに「L0」と表示され、SP-404SX の操作ができなくなります。

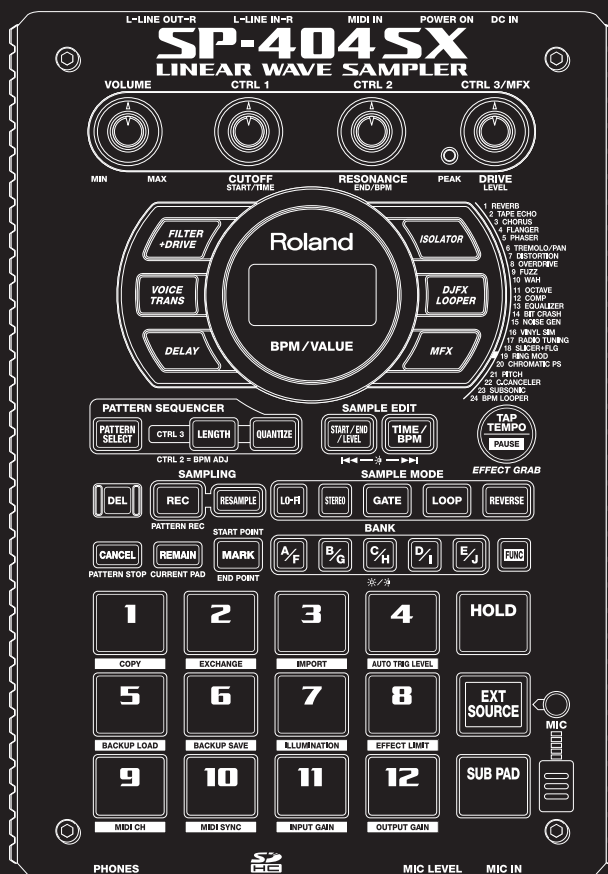
メモ

AC アダプターを接続して電源を入れている場合、[BANK] ボタンがすべて点灯します。

スリープ・モードについて

『ディスプレイ・イルミネーションとスリープの設定をする』(P.40) の設定を「SLP」(スリープ) に設定することで、約 5 分間操作をしないと SP-404SX のボタンをすべて消灯するスリープ・モードになります。電池駆動時にはバッテリーの寿命を延ばすことができます。

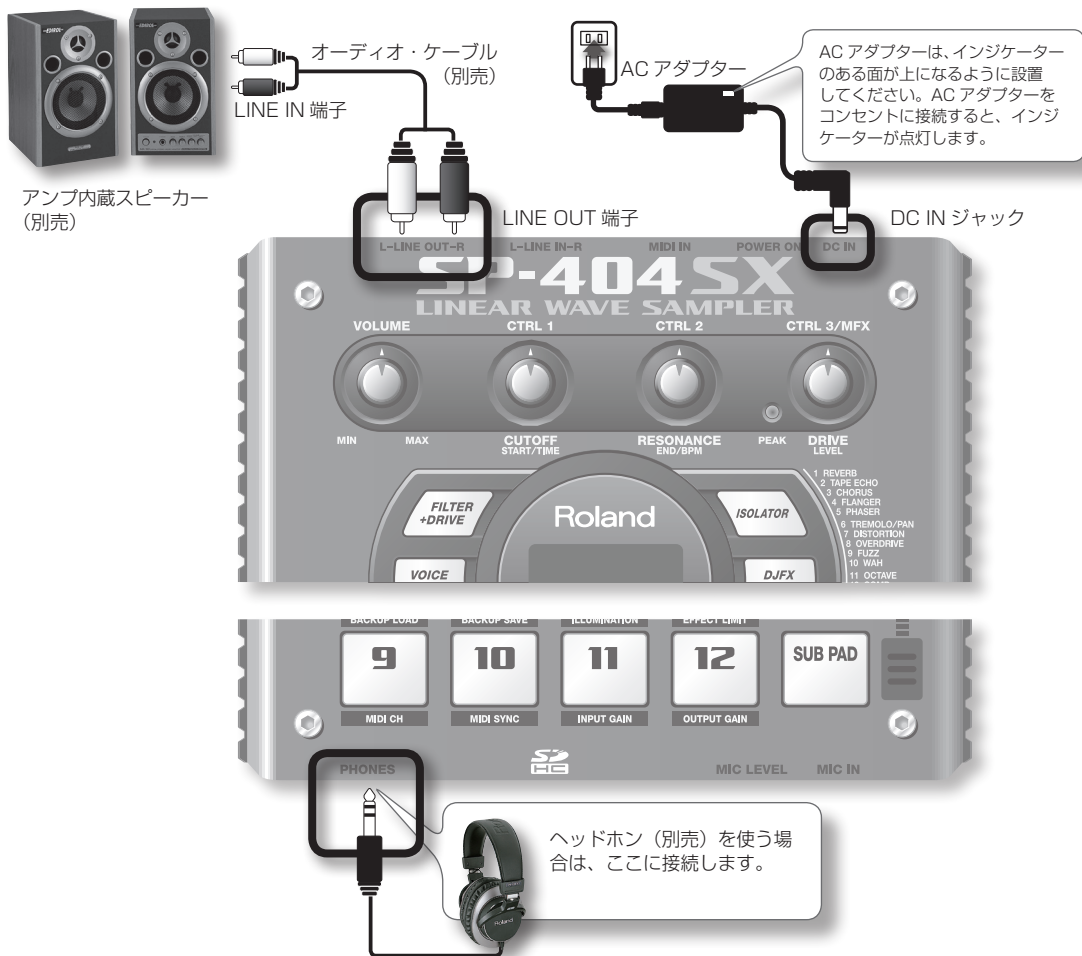
基本操作編



ご使用前の準備

SP-404SXをスピーカーにつなぐ

はじめに SP-404SX やアンプ内蔵スピーカー（以下「スピーカー」と記載）の電源を切ってから、図のように接続します。



ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で接続してください。

機能接地端子について

設置条件によっては本体や接続されたマイクなどの金属部に触れると、違和感を覚えたりざらつくような感じになるとことがあります。これは人体に全く害のない極微量の帯電によるものですが、気になる方は、必要に応じ、接地端子（図参照）を使って外部のアースか大地に接地してご使用ください。接地した場合、設置条件によってはわずかにハム（うなり）が混じる場合があります。なお接続方法がわからないときはローランドお客様相談センターにご相談ください。

接続してはいけないところ

- 水道管（感電の原因になります）
- ガス管（爆発や引火の原因になります）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です）



電源を入れる

ご注意！

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

1. SP-404SX とスピーカーの音量を最小にします。

SP-404SX の [VOLUME] つまみを左いっぱいに戻します。



2. SP-404SX の [POWER] スイッチを ON にします。



ご注意！

SP-404SX は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

3. スピーカーの電源を入れます。

4. 音量を調節します。

SP-404SX のパッドを叩いて音を聴きながら、[VOLUME] つまみを徐々に右に回して、SP-404SX とスピーカーの音量を調節します。



電源を切る

1. SP-404SX とスピーカーの音量を最小にします。

2. スピーカーの電源を切ります。

3. SP-404SX の [POWER] スイッチを OFF にします。

SDカードを挿す

SP-404SX は市販の SD カードを挿すことで、より長時間のサンプリングができるようになります。

ここでは SD カードの挿し方を説明しますが、新たに SP-404SX をお買い上げの場合は工場出荷時にプリロード・データの入った SD カードが SP-404SX に挿さっていますので、このページの手順は不要です。

カード・カバーを外すには CARD LOCK ネジを外してください !!

工場出荷時は、本体底面の「CARD LOCK」と刻印された位置にカード・カバーをロックするネジが取り付けられています。カード・カバーを外すには、まずプラス・ドライバーを使って CARD LOCK ネジを取り外してください。なお、ネジは工場出荷輸送のためのものですので、再利用せず廃棄してください。



ご注意!

- 取り外したネジは、小さなお子様が悪く飲み込んでしまうことのないようご注意ください。
- 本体を裏返す際は、ボタン、つまみなどを破損しないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。また、その際、ボタン、つまみなどが破損しないような位置に配置してください。
- 本体の電源を入れたまま、SD カードの抜き差しをしないでください。本体や SD カード内のデータが失われる可能性があります。

1. フロント・パネルのカード・カバーを外します。



2. SD カードをスロットに挿入して、カバーを戻します。



SD カードは挿入方向や表裏に注意し、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。

SP-404SX で使用できる SD カードについて

SP-404SX は最大 32GB までの SDHC / SD カードに対応しています。最新の動作確認情報はローランド・サポート・ページの「製品別サポート(SP-404SX)」にご案内しています。

<http://www.roland.co.jp/support/>



初めて市販の SD カードを使う場合

市販の SD カードを SP-404SX で使用するときは、最初に『SD カードのフォーマット (初期化)』(P.35) の手順でフォーマットしてください。ただし、**製品に付属の SD カードはフォーマットしないでください。**製品に付属の SD カードをフォーマットするとカードに収録されたプリロード・データがすべて消えてしまいます。

SD カードのロックは解除してください !!

SP-404SX は **SD カードがロックされた状態では動作しません** (ディスプレイに「L o C」と表示されます)。SD カードのロックを解除してご使用ください。



SD カードを抜く

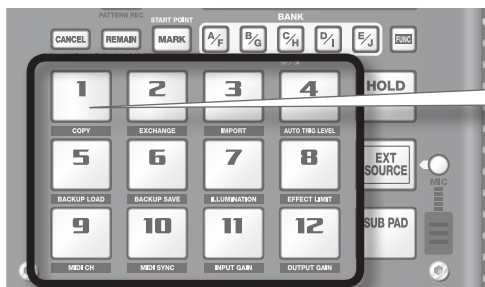
- SD カードを押し込みます。
- カードをつまんで手前に引っ張ります。

音を鳴らす

サンプルを再生する

サンプルとは？

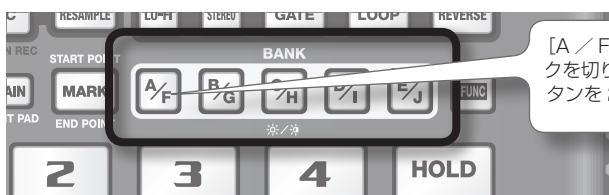
サンプルとは、サンプリング（録音）した音にループなどの設定を加え、12個のパッドに割り当てたものです。[1]～[12]のパッドを押すことでサンプルを再生することができます。



パッドを押すとサンプルが再生されます。サンプルが再生中のパッドは赤く点灯します。

サンプル・バンクとは？

パッドに割り当てた12個のサンプルのセットがサンプル・バンクです。SP-404SXにはA～Jの10個のサンプル・バンクがあります。



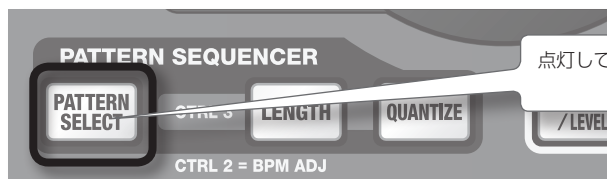
[A / F] ～ [E / J] ボタンでサンプル・バンクを切り替えます。Fを選ぶときは [A / F] ボタンを2度押して点滅させます。

同時に鳴らせるサンプルの数は？

SP-404SXはモノラルで12個、ステレオで6個のサンプルを同時に鳴らすことができます。リサンプリング時（P. 26）は、モノラルで4個、ステレオで2個になります。

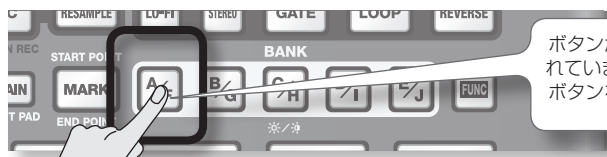
工場出荷時に挿さっているSDカードには、サンプル・バンク [A] ～ [F] のパッド [1] ～ [12] にサンプルが割り当てられています。まずそれらを聴いてみましょう。

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。



点灯していたら、ボタンを押して消灯します。

2. BANKの[A / F] ボタンを押して点灯させます。



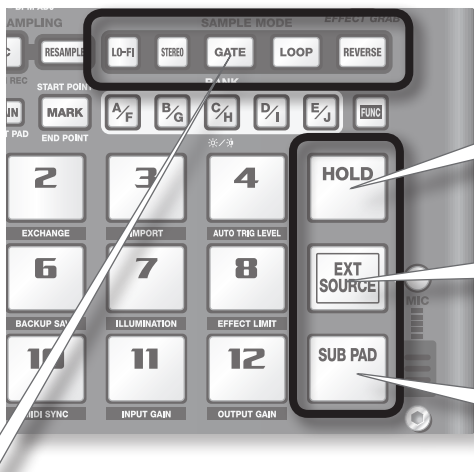
ボタンが点滅している場合はバンクFが選ばれています。バンクAを選ぶときは、[A / F] ボタンをもう一度押して点灯させてください。

3. パッドを押すとサンプルが再生されます。



サンプルを再生している間、そのパッドが点灯します。
複数のパッドを同時に押して再生することもできます。

以下で紹介する機能を使って、サンプルを再生してみましょう。



ホールドする

パッドを押している間に [HOLD] パッドを押すと、パッドから手を離してもサンプルの再生が続きます。サンプルを停止するときは、もう一度パッドを押します。

外部入力の音を鳴らす

LINE IN 端子やマイク入力の音を鳴らします (P. 24)

連打する

[SUB PAD] パッドを押すと、前回押したパッドと同じサンプルが再生されます。両手を使ってパッドを連打するような演奏に最適です。

サンプル設定を確認／変更する

これらのボタンは、最後に押したパッド (カレント・パッド) のサンプル設定を表示します。ボタンを押すことでサンプル設定を変更することもできます。

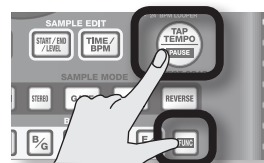
* 付属 SD カードのバンク A ~ F のサンプルは工場出荷時にプロテクトがかかっているため設定を変更できません。プロテクトの解除方法は『プロテクト機能について』(P.38) をご覧ください。

ボタン	点灯時	消灯時
LO-FI	ローファイ・サウンドで再生する	スタンダード・サウンドで再生する
GATE	パッドから手を離すと、サンプルの再生を停止する	パッドから手を離しても、サンプルの再生を続ける
LOOP	繰り返し (ループ) 再生する	繰り返し (ループ) 再生しない
REVERSE	逆方向再生する	通常再生する

発音を一時停止する (PAUSE)

[FUNC] ボタンを押しながら [TAP TEMPO] (PAUSE) ボタンを押すと、発音を一時停止し、発音再開以外のボタン操作は受け付けなくなります。

もう一度 [FUNC] ボタンを押しながら [TAP TEMPO] (PAUSE) ボタンを押すことで、発音を再開します。



音が止まらなくなったときは !!

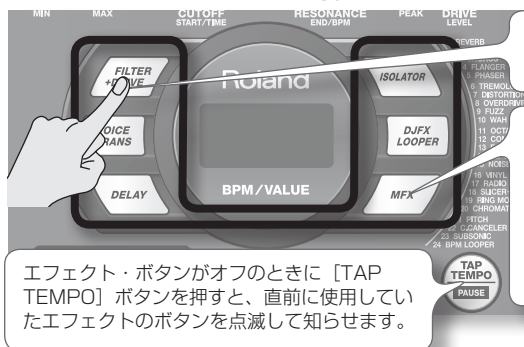
音が止まらなくなったときは、[CANCEL] ボタンを素速く 4 回連続で押してください。SP-404SX のすべての音をストップすることができます。



エフェクトをかける

SP-404SX は、29 種類のエフェクトを内蔵しています。ここでは、サンプルに「フィルター+オーバードライブ」をかけてみましょう。

1. パッドを押してサンプルを再生します。
2. [FILTER+DRIVE] ボタンを押します。



エフェクトはこれらのボタンを押して切り換えます（オフにするには消灯します）。複数のエフェクトを同時にかけることはできません。

MFX で使うエフェクトは、以下のいずれかの方法で切り替えます。

[MFX] ボタンを押しながら [CTRL 3] つまみを回す

[MFX] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [12] を押す (MFX1 ~ 12)

[MFX] と [DJFX LOOPER] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [12] を押す (MFX13 ~ 24)

エフェクト・ボタンがオフのときに [TAP TEMPO] ボタンを押すと、直前に使用していたエフェクトのボタンを点滅して知らせます。

3. [CTRL 1] ~ [CTRL 3] つまみを回して、効果を調節します。

つまみ	画面表示	効果
CTRL 1	(CUTOFF)	フィルターのカットオフ周波数を調節します。
CTRL 2	(RESONANCE)	フィルターのレゾナンスを調節します。
CTRL 3	(DRIVE)	ドライブ (歪み) の量を変更します。

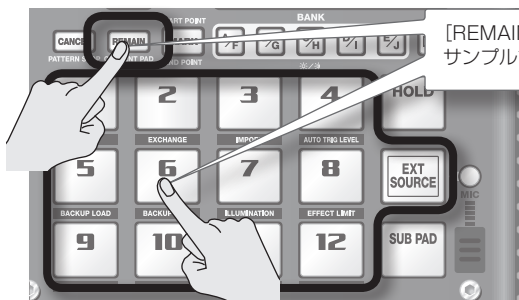
各エフェクトについて詳しくは『エフェクト一覧』(P.42) をご覧ください。

次に選ぶエフェクトのパラメータをあらかじめセットする

[REMAIN] ボタンを押しながら、[CTRL 1] ~ [CTRL 3] のつまみを回して、パラメータを調節します。次にエフェクト・ボタンを押したときは、あらかじめセットしたパラメータ値でエフェクトがかかります。

複数のサンプルにエフェクトをかける

通常、エフェクトは最後に押したパッドのサンプルのみにかかります。しかし [REMAIN] ボタンを使うことで、複数のサンプルにエフェクトをかけることができます。



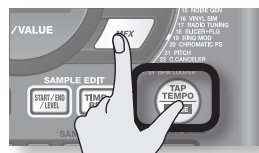
[REMAIN] ボタンを押しながらパッドを押していくと、点灯させたサンプルすべてにエフェクトをかけることができます。

[REMAIN] ボタンを押しながら使用するエフェクトのボタンを押せば、すべてのサンプルにエフェクトをかけることができます。



ボタンを押している間だけエフェクトをかける (EFFECT GRAB)

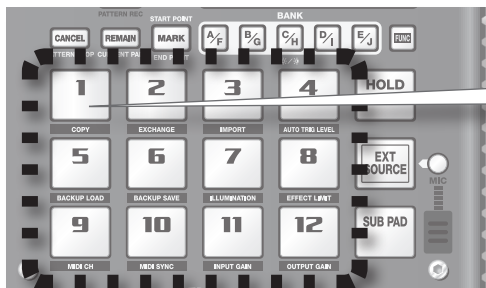
[TAP TEMPO] (EFFECT GRAB) ボタンを押しながらエフェクト・ボタンを押すと、エフェクト・ボタンを押している間だけエフェクトがかかります。演奏に合わせてエフェクトを素早くオン・オフすることができます。



パターンを再生する

パターンとは？

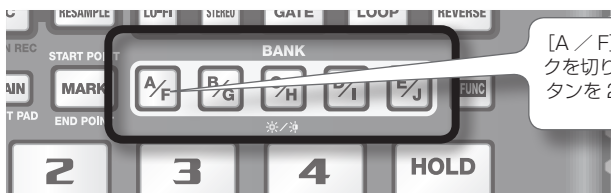
SP-404SX では、パッドを押していくつかのサンプルを順に再生し、その演奏をそのまま記録して曲にすることができます。このようにサンプルを順番に並べたものをパターンといいます。



パターンが割り当てられたパッドは、赤く点滅します。点滅しているパッドを押すとパターンが再生されます。

パターン・バンクとは？

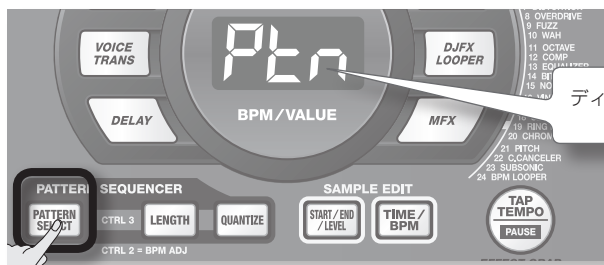
パッドに割り当てた 12 のパターンのセットがパターン・バンクです。SP-404SX には A ~ J の 10 個のパターン・バンクがあります。



[A / F] ~ [E / J] ボタンでパターン・バンクを切り替えます。F を選ぶときは [A / F] ボタンを 2 度押して点滅させます。

工場出荷時に挿さっている SD カードには、パターン・バンク [A] ~ [E] のパッド [1] ~ [12] にパターンが割り当てられています。まずそれらを聴いてみましょう。

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。



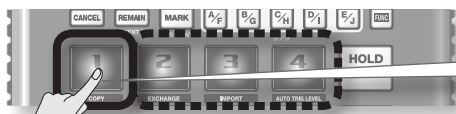
ディスプレイに「Ptn」と表示されます。

2. BANK の [A / F] ボタンを押して点灯させます。



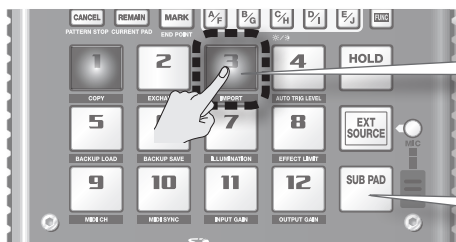
ボタンが点滅している場合はバンク F が選ばれています、[A / F] ボタンをもう一度押して点灯させてください。

3. パッドを押すとパターンが再生されます。



パッドが点滅から点灯に変わり、パターン再生を開始します。

4. 別のパッドを押すと、次のパターンが予約されます。



パターン再生中に別のパッドを押すと、次に再生するパターンとして予約され、そのパッドが点滅します。現在再生中のパターンを最後まで再生すると、予約したパターンが再生されます。

[SUB PAD] パッドを押しながらパッドを押すと、すぐにパターンが切り替わります。

5. 再生中のパッドを押すと、パターン再生が停止されます。



[CANCEL] ボタンを押しても、パターン再生が停止します。



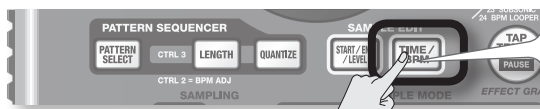
メモ

パターンの作成方法は『パターンを録音する』(P.32)をご覧ください。

テンポを変更する

パターンの再生テンポを変えてみましょう。

1. [TIME / BPM] ボタンを押して点灯させます。



メモ

[PATTERN SELECT] ボタン点灯中はパターンのテンポを、[PATTERN SELECT] ボタン消灯時はカレント・パッドのテンポを変更します。

2. [CTRL 2] つまみを回します。



ディスプレイにテンポが BPM で表示され、パターンの再生テンポが変わります。

BPM の設定可能範囲は 40 ~ 200 です。ただし BPM が、40 ~ 60、160 ~ 180 のときは偶数の値のみ設定することができます。BPM が 180 以上のときは、180、183、186、190、193、196、200 のいずれかに設定することができます。

音楽に合わせて 4 分音符のタイミングで数回[TAP TEMPO] ボタンを押しても、テンポを設定することができます。

3. テンポが決まったら、[TIME / BPM] ボタンを押して消灯させます。

BPM とは？

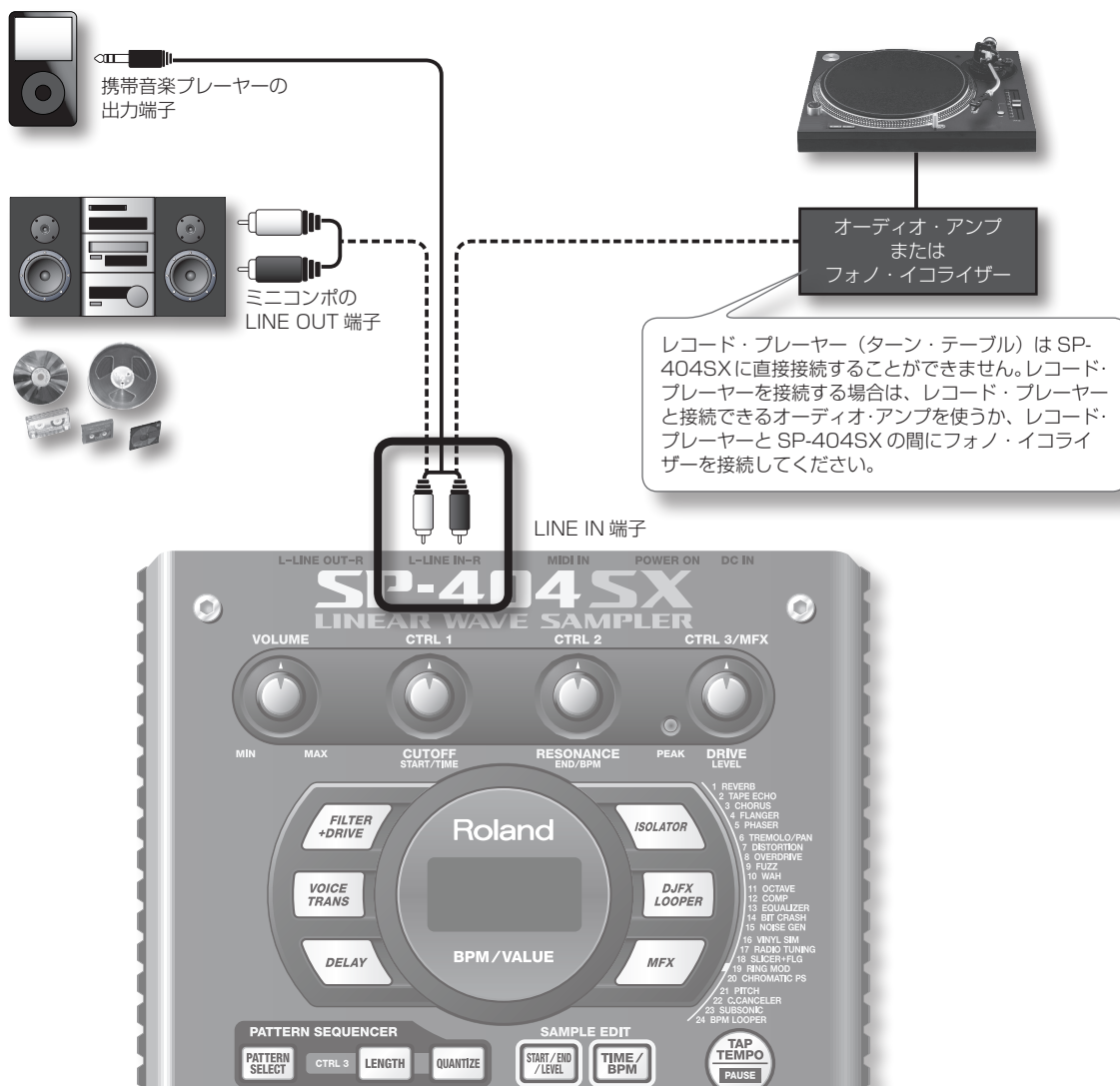
Beats Per Minute の略で、1 分間に演奏される 4 分音符の数のことです。

サンプリング（録音）する ～基本編～

ステップ1：サンプリングする機材をつなぐ

携帯音楽プレーヤーやミニコンポをつなぐ場合

携帯音楽プレーヤー、ミニコンポ、CDプレーヤーなどをつなぐ場合は、それらの機器の出力端子（LINE OUT 端子や AUX OUT 端子など）と SP-404SX の LINE IN 端子を市販のオーディオ・ケーブルで接続します。

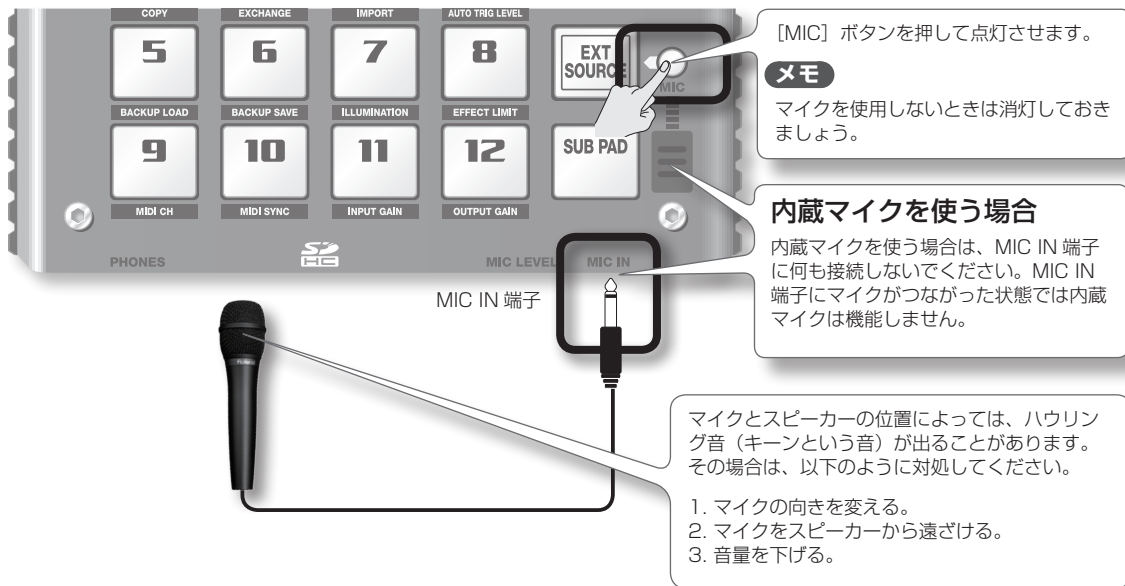


接続時の注意

- 録音する機器を接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で接続してください。
- 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、LINE IN 端子に接続した機器の音量が小さくなる場合があります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

マイクをつなぐ場合

マイクをつなぐ場合は、MIC IN 端子に接続して、[MIC] ボタンを押して点灯させます。



パソコンの WAVE ファイルを読み込む場合

付属ソフト「SP-404SX Wave Converter」を使うと、パソコン上の WAV または AIFF ファイルを SP-404SX のパッドに割り当てた状態で SD カードに書き込むことができます。

詳しくは『パソコンの WAVE ファイルを読み込む』（P.22）をご覧ください。



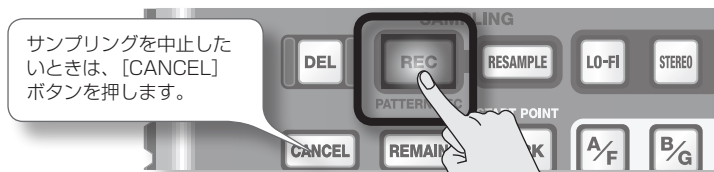
ステップ2：サンプリングする

ここでは、バンク J のパッド [1] にサンプリングする方法を例に説明します。

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。



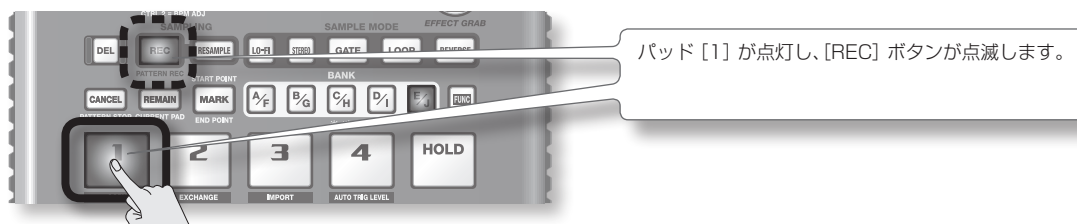
2. [REC] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。



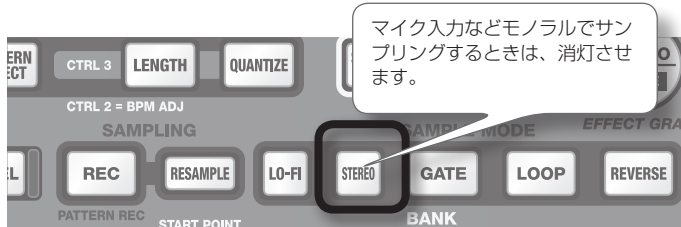
3. BANK の [E / J] ボタンを押して点滅させます。



4. パッド [1] を押します。



5. STEREO の設定をします。



サンプリング時間との関係

モノラルでサンプリングすると、ステレオと比較してサンプリング時間が約 2 倍になります。また、同時に発音できるサンプルの数も倍になります (モノラル：12 個、ステレオ：6 個)。

エフェクトをかけてサンプリングしたい場合は

ここでエフェクトボタンを押すと、エフェクトをかけてサンプリングすることができます。

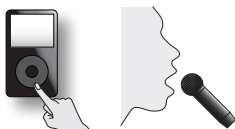


メモ

このとき [CTRL 1] と [CTRL 2] つまみを使ってエフェクトの設定を調節できます。[CTRL 3] つまみはデジタル入力レベルの調整に使用しますので、エフェクトの設定を調節することはできません。

6. 録音レベルを調節します。

6-1. SP-404SX に接続した機器を鳴らします (マイクの場合はマイクに向かって声を出します)。



6-2. PEAK ランプがときどき点灯する程度に、SP-404SX に接続した機器 (携帯音楽プレーヤーなど) の音量を調節します。

PEAK ランプがときどき点灯する程度に…

携帯音楽プレーヤーなどの音量を調節します。

メモ
音量を調節できない機器で PEAK ランプが常に点灯する場合は、P. 39の手順で SP-404SX の入力ゲインを「-10dB」に設定してください。

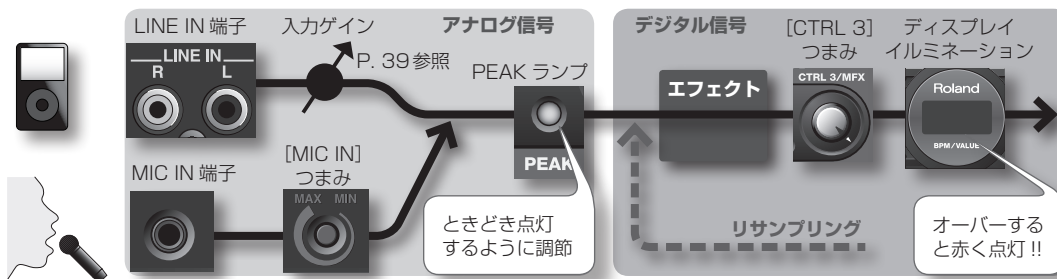
マイクの場合は [MIC LEVEL] つまみを回して調節します。

6-3. ディスプレイ・イルミネーションが赤く光るときは内部のデジタル入力レベルがオーバーしていますので、赤く光らなくなるまで [CTRL 3] つまみを左に回してください。

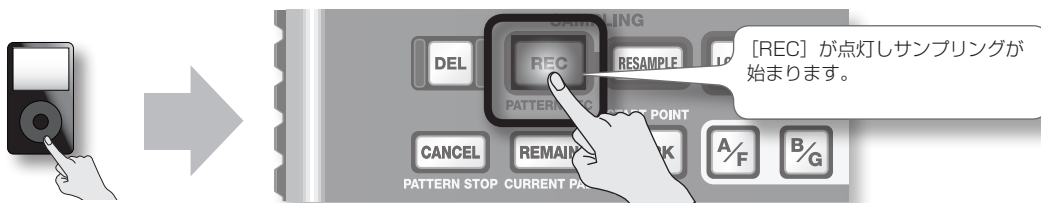
ここが赤く光るとデジタル入力レベルがオーバー!!

[CTRL 3] つまみを右いっぱいに戻してから、赤く光らなくなるまでつまみを左に回してください。

信号の流れ



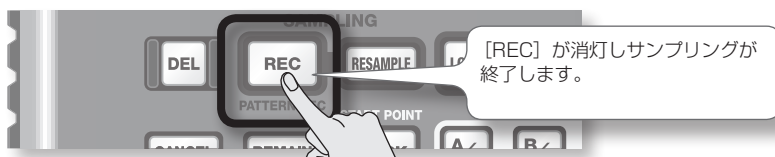
7. SP-404SX に接続した機器を鳴らし、サンプリングを開始したいタイミングで [REC] ボタンを押します。



ご注意

サンプリング中は、絶対に電源を切らないでください。電源を切るとサンプリング中のサンプルだけでなく、他のサンプルも破壊される恐れがあります。

8. サンプリングを終了したいところで、[REC] ボタンを押します。

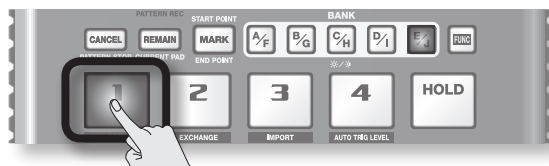


ディスプレイに「FUL」と表示されたら

以下の場合にはディスプレイに「FUL」と表示され、自動的にサンプリングが終了します。

- SD カードの残り容量が無くなった場合
- サンプリング中のサンプルが 2GB（ステレオで約 180 分）を超えた場合

9. パッド [1] を押すと、今サンプリングした音が再生されます。



不要な部分が入ってしまったときは

頭の部分や終わりの部分に不要な音や空白が入ってしまったとき、必要な部分だけを鳴らすように設定することができます。

詳しくは、『サンプルの再生範囲を調節する』（P.27）をご覧ください。

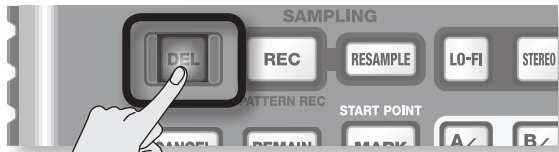
サンプリングし直したいとき

次のページの『サンプルを削除する』（P.21）の手順で、サンプルを消してから、サンプリングし直してください。

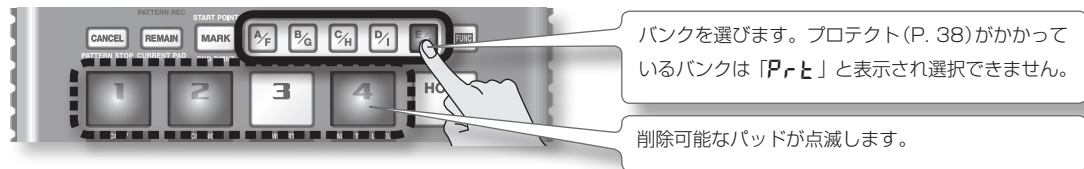
サンプルを削除する

サンプリングした音が気に入らないときは、以下の手順でサンプルを削除してから、もう一度サンプリングしましょう。

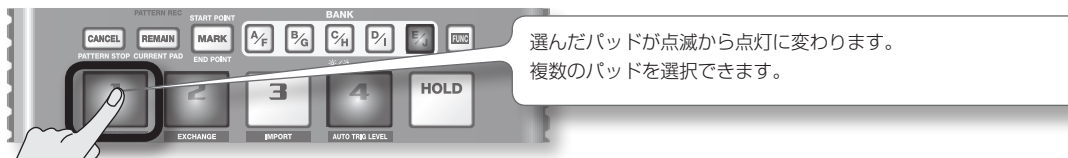
1. [DEL] ボタンを押します。



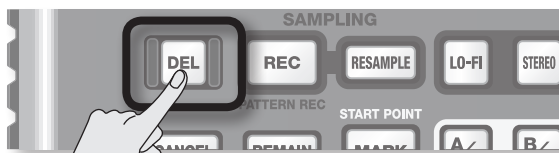
2. ディスプレイに「dEL」と表示され、削除可能なパッドが点滅します。



3. 削除したいパッドを押します。



4. [DEL] ボタンを押すと、サンプルが削除されます。



ご注意！

削除が完了するまで絶対に電源を切らないでください。ディスプレイの「dEL」という表示が消えたら削除完了です。

パソコンの WAVE ファイルを読み込む

付属ソフト「SP-404SX Wave Converter」を使うと、パソコン上の WAV または AIFF ファイルを SP-404SX のパッドに割り当てた状態で SD カードに書き込むことができます。



1. Wave Converter をインストールします。

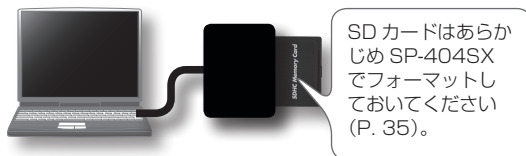
Windows の場合

「SP-404SX UTILITY CD-ROM」の Wave Converter フォルダにある、**Setup.exe** をダブルクリックします。

Mac OS X の場合

「SP-404SX UTILITY CD-ROM」の Wave Converter フォルダにある、**SP-404SX Wave Converter Installer.pkg** をダブルクリックします

2. パソコンにカード・リーダー (別売) を接続し、SD カードを挿します。



3. Wave Converter を起動します。

Windows の場合

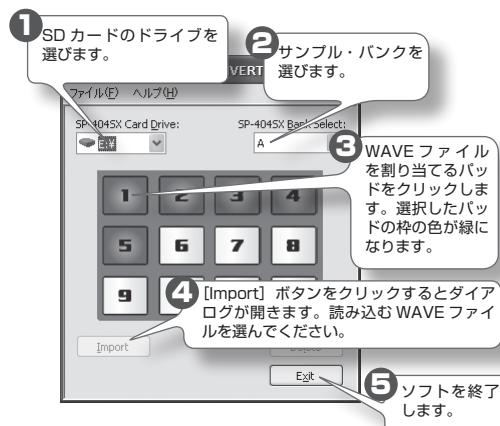
スタート・メニューから **SP-404SX Wave Converter** を選択します。

Mac OS X の場合

SP-404SX Wave Converter のアイコンをダブルクリックします。

4. Wave Converter で WAVE ファイルを読み込みます。

以下の手順で、WAVE ファイル (または AIFF ファイル) を SP-404SX のパッドに割り当てて、最後に [Exit] ボタンをクリックしてソフトを終了します。



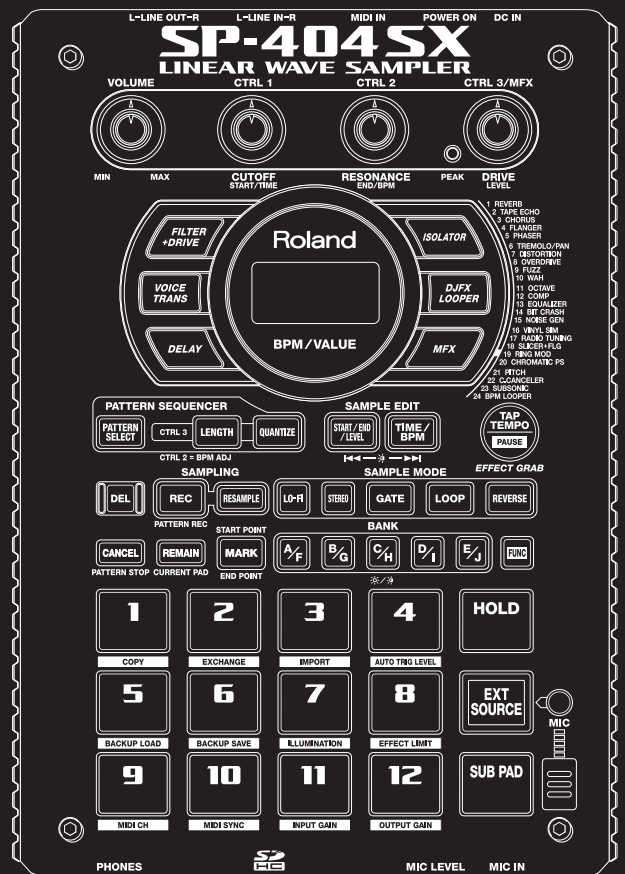
5. SD カードを SP-404SX に挿して、SP-404SX の電源を入れます。

インポートした WAVE ファイルを SP-404SX で鳴らすことができます。

メモ

- SP-404SX Wave Converter の使い方については、オンライン・ヘルプを参照してください。オンライン・ヘルプは、PDF ファイル形式で作成されています。PDF ファイルをご覧いただくためには Adobe Reader (無償) が必要です。
- 付属ソフト「SP-404SX Wave Converter」を使用せずに SD カード内の WAVE ファイルを読み込む場合は、『WAVE ファイルのインポート』(P.36) をお読みください。

応用編



外部入力の音を鳴らす

SP-404SX は、LINE IN 端子に接続した携帯音楽プレーヤーや MIC IN 端子に接続したマイクなどの外部からの入力音に対して、サンプルと同様に鳴らしたり、エフェクトをかけることができます。

1. 『携帯音楽プレーヤーやミニコンボをつなぐ場合』(P.16)または、『マイクをつなぐ場合』(P.17)を参照して SP-404SX に携帯音楽プレーヤーやマイクをつなぎます。

2. [EXT SOURCE] パッドを押して点灯させます。マイクから入力する場合は、[MIC] ボタンも押してボタンを点灯させます。

パッドが点灯している間、外部入力音が鳴ります。

メモ

[GATE] ボタンが点灯しているときは、[EXT SOURCE] パッドを押している間だけ音が鳴ります。

3. [STEREO] ボタンを押してボタンを点灯/消灯させ、外部入力のステレオ/モノラルを切り替えます。

点灯時がステレオになります。

メモ

携帯音楽プレーヤーなど、もともとステレオ入力の場合は、[STEREO] ボタンを点灯させておくのがよいでしょう。

4. エフェクト・ボタンのいずれかを押してボタンを点灯させると、外部入力音にエフェクトをかけることができます (P. 13)。

メモ

エフェクト・ボタンを押して点灯させても外部入力音にエフェクトがかからない場合は、さらに [REMAIN] (CURRENT PAD) ボタンを押しながら [EXT SOURCE] パッドを押してください。外部入力音にエフェクトがかかるようになります。

EXT SOURCEの音量を調節する

[EXT SOURCE] パッドの音量を調節することができます。次の手順で音量を調節してください。

1. [EXT SOURCE] パッドを押して、パッドを点灯させます。マイクから入力する場合は、[MIC] ボタンも押してボタンを点灯させます。

外部入力音が鳴ります。

2. [START / END / LEVEL] ボタンを押して点灯させます。

3. [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して、入力音の音量を調節します。

SP-404SX のディスプレイ・イルミネーションが赤く光るときは内部のデジタル入力レベルがオーバーしていますので、ディスプレイ・イルミネーションが赤く光らなくなるまで [CTRL 3] つまみを左に回してください。

メモ

- [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回しても外部入力の音量が変化しない場合は、[REMAIN] (CURRENT PAD) ボタンを押しながら [EXT SOURCE] パッドを押してください。(この操作によって、外部入力が音量の調節対象に選ばれます。)
- その後、改めて [START / END / LEVEL] ボタンを押し、[CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して調節してください。

4. もう一度 [START / END / LEVEL] ボタンを押します。

[START / END / LEVEL] ボタンが消灯し、音量が設定されます。

メモ

電源投入時は、必ず初期値 (127) になります。

サンプリングする ～応用編～

メモ

ここでは応用的なサンプリング方法を解説します。サンプリングの基本的な方法は『サンプリング（録音）する～基本編～』（P.16）をご覧ください。

サンプリング可能な時間

ひとつのサンプルの最大サンプリング時間（容量）はステレオで約 180 分（2GB）です。

容量の大きな SDHC カードを使えば、より多くのサンプルを保存する事ができます。

ひとつの SD カードに収録できるサンプルのサンプリング時間合計の目安は次のとおりです。

カード容量	ステレオ（モノ）	カード容量	ステレオ（モノ）
1GB	約 90 分（180 分）	8GB	約 720 分（24 時間）
2GB	約 180 分（360 分）	16GB	約 24 時間（48 時間）
4GB	約 360 分（720 分）	32GB	約 48 時間（96 時間）

メモ

SP-404SX 同梱の 1GB SD カードにはプリロード・データが含まれますので、上記のサンプリング時間よりも短くなります。

サンプリング可能な残り時間

1. [REMAIN] ボタンを押すと、ディスプレイに残り時間が表示されます。



メモ

表示は、ステレオでサンプリングした場合の表示です。残り時間の表示は概算です。

サンプリング・データの種類を決める

SP-404SX は WAV (.wav) または AIFF (.aif) 形式でサンプリング・データを保存します。サンプリング・データの種類を変えたいときは、以下の操作を行います。

1. [RESAMPLE] ボタンを押しながら、電源を入れます。
2. [PATTERN SELECT] ボタンを押して、WAV / AIF を切り替えます。

このボタンを押すたびに、ディスプレイの「WAV」(WAV) と「R, F」(AIFF) の表示が切り替わります。

3. [RESAMPLE] ボタンを押して、ファイルの種類を決めます。

メモ

電源を切った後も、この設定は変わりません。

自動的にサンプリングをスタートする（オート・サンプリング）

あらかじめ指定したレベル以上の音（信号）が入ったときに、自動的にサンプリングを開始するオート・サンプリング機能があります。曲のイントロからサンプリングするときに便利です。スタンバイ状態にする前に、以下の方法でサンプリング開始レベルを調整してください。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [4] (AUTO TRIG LEVEL) を押します。

[REC] ボタンが点滅し、「-0-」と表示されます。

2. [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回してレベルを設定します。

ディスプレイ・イルミネーション（赤）が点灯するレベルがサンプリング開始レベルになります。右に回すほどレベルは高くなります。このとき、ディスプレイに設定レベル（0～9の10段階）が表示されます。

メモ

表示が「-0-」のときは、通常のサンプリング（オート・サンプリングしない）になります。オート・サンプリングをオフにするときは、表示を「-0-」にしてください。

3. サンプリング開始レベルを確定するときは、もう一度 [REC] ボタンを押してください。

オート・サンプリングが設定された状態でサンプリングを開始すると、サンプリング開始レベルを超える信号が入力されるまでディスプレイには「rdy」と表示されます。

テンポを決めてサンプリングする

サンプリングのスタンバイ状態で BPM（テンポ）を設定しておく、サンプリング終了時、ボタンを押す直前の BPM 値に合わせた拍に、発音停止のタイミング（エンド・ポイント）が自動的に設定されます。

1. 『ステップ 2: サンプリングする』（P.18）の手順 1～6 で、サンプリングの準備をします。
2. 『テンポを変更する』（P.15）の手順でテンポを変更します。
3. [REC] ボタンを押すとサンプリングが始まります。

- もう一度 [REC] ボタンを押すとサンプリングが終了します。

メモ

- サンプリング終了後、BPM に合わせてエンド・ポイントが自動的に設定され、[MARK] ボタンが点灯します。『サンプルの再生範囲を調節する』(P.27) をご覧ください。
- サンプリングした時間が複数小節の場合や 1 小節に満たない場合は、BPM の表示値が 2 倍や半分になることがあります。この場合、[TIME / BPM] ボタンを押して点灯させ、[CTRL 2] (BPM) つまみを回して希望の値に補正してください。『サンプルの BPM を変更する』(P.30) をご覧ください。
- 表示された BPM 値は、サンプリングした時間から求めた近似値で誤差を含みます。
- BPM の値によっては、BPM に相当する時間と、スタート・ポイントからエンド・ポイントまでの時間とが厳密には一致しないことがあります。このため、サンプルをループ再生(P. 12)で長時間鳴らし続けると、徐々にタイミングがずれてくることがあります。

カウントインを使う

カウント (1、2、3、4) を入れて、サンプリングを開始することができます。あらかじめテンポや拍を考慮してサンプリングするときに便利です。

- 『テンポを決めてサンプリングする』(P.25) の手順 1 ~ 2 で、サンプリングの準備をします。
- [START / END / LEVEL] ボタンを押して点灯させます。
- [REC] ボタンを押します。

メトロノームが鳴り、ディスプレイが「- 1 -」→「- 2 -」→「- 3 -」→「- 4 -」→「REC」と変化します。「REC」と表示されたら、サンプリング開始です。

リサンプリングする

サンプリングされているサンプルに対して、エフェクトをかけながら鳴らし、これを新たなサンプルとしてサンプリングすることができます。この操作をリサンプリングといいます。

- [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。

点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。

- オリジナルのサンプルにエフェクトをかけ、エフェクトのパラメータを設定します。

- [RESAMPLE] ボタンを押して点灯させます。「REU」と表示されます。

- オリジナルのサンプルを再生させます。

- [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して、ディスプレイ・イルミネーションが赤く光らない程度に調整します。

メモ

[RESAMPLE] ボタンが点灯しているときは、[CTRL 3] つまみを回してエフェクトのかけ具合を変えることはできません。[CTRL 3] つまみでエフェクトのかけ具合を変えたい場合は、[CANCEL] ボタンを押して [RESAMPLE] ボタンを消灯させてください。

- [REC] ボタンを押して、ボタンを点滅させます。

リサンプリング可能なバンクのボタンとパッドが点滅します。

- リサンプリング先のパッドを押してパッドを点灯させます。

異なるバンクのパッドにリサンプリングすることもできます。

ご注意!

すでにサンプルが割り当てられているパッドにリサンプリングすることはできません。

- [STEREO] ボタンでステレオ/モノラルの設定をします。

詳細は P. 18 の手順 5. をご覧ください。

- [REC] ボタンを押して点灯させます。

このとき、まだリサンプリングは始まりません。

- リサンプリングの元になるパッドを押します。

サンプルが鳴り始めると同時に、リサンプリングが始まります。

ご注意!

リサンプリング中は、絶対に電源を切らないでください。電源を切ると、リサンプリング中のサンプルだけでなく、他のサンプルも破壊される恐れがあります。

- リサンプリングを終了したいところで、[REC] ボタンを押します。

メモ

リサンプリング時は同時に鳴らせるサンプルの数がモノラルで 4 個、ステレオで 2 個になります。

サンプルのエディット

メモ

サンプルのGATE (ゲート)、LOOP (ループ)、REVERCE (リバース)、LO-FI (ローファイ) の設定方法については P. 12 をご覧ください。

サンプルの音量を設定する

パッドごとに音量を調節することができます。

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。
2. 音量を調節したいサンプルが割り当てられているパッドを押します。
パッドが点灯し、サンプルが鳴ります。
3. [START / END / LEVEL] ボタンを押して点灯させます。
4. [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して、サンプルの音量を調節します。
5. 調節が終わったら、[START / END / LEVEL] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

[CTRL 3] (LEVEL) つまみを左に回すと小さく、右に回すと大きくなります。127 に設定すると最大の音量になります。サンプリング直後の初期値は 127 です。

メモ

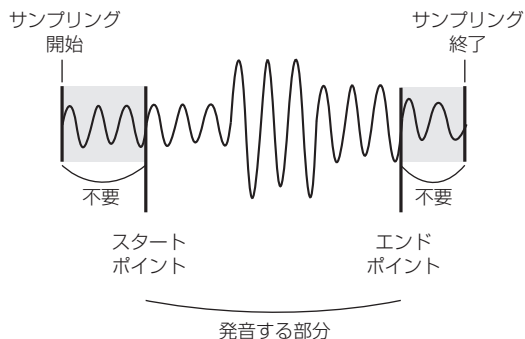
[START / END / LEVEL] ボタンが点灯しているときは、音量だけでなく、スタート・ポイント / エンド・ポイント (P. 27) も [CTRL 1]、[CTRL 2] つまみによって変更できます。誤って [CTRL 1]、[CTRL 2] つまみを動かしてしまったときは、これらのつまみを中央に戻してください。つまみを動かす前の設定に戻ります。中央に戻さないまま [START / END / LEVEL] ボタンを押してボタンを消灯させてしまうと、スタート・ポイント / エンド・ポイントが変更された値のまま設定されます。

サンプルの再生範囲を調節する

SP-404SX では、パッドを押したときに、そのサンプルの波形データのどこからどこまでを再生させるか、各サンプルに設定することができます。

波形データの再生開始位置をスタート・ポイント、再生終了位置をエンド・ポイントと呼びます。

サンプリングした音の頭に余分な音や空白が入ってしまったときにはスタート・ポイントを、最後に入ってしまったときはエンド・ポイントを設定することで、必要な部分だけを鳴らすことができるようになります。



メモ

- スタート・ポイントやエンド・ポイントを設定すると、新たに設定された時間に合わせて自動的にBPM (テンポ) を計算して表示します。設定時間が複数小節や 1 小節に満たない場合、BPM の表示値が半分や 2 倍になることがあります。BPM を希望の値に正するときには、『サンプルのBPMを変更する』(P.30) をご覧ください。
- 範囲の長さが 3 拍になる場合など、設定によっては正確な BPM 値を計算 / 補正できないことがあります。

調節した再生範囲をキャンセルする (マークを消去する)

スタート・ポイントまたはエンド・ポイントのいずれかが設定されていると、[MARK] ボタンが点灯します。これらの設定をキャンセルしたいときは、発音中に、点灯している [MARK] ボタンを押してボタンを消灯させます。

メモ

『サンプルの不要な部分を消去する (トランケート)』(P.29) を実行すると、再生範囲以外の部分を消去し、スタート・ポイント / エンド・ポイントをサンプルの先頭 / 最後とすることができます。

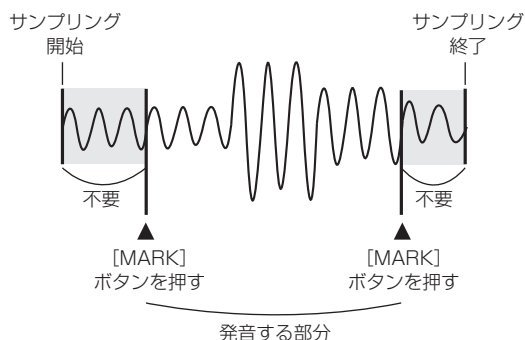
スタート・ポイント、エンド・ポイントともに調節する場合

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。
2. 再生範囲を調節したいパッドを押して、音を鳴らします。

メモ

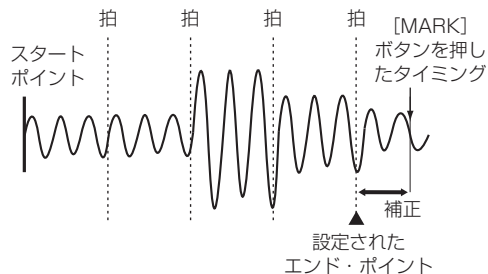
[MARK] ボタンが点灯している場合は、すでにスタート・ポイント/エンド・ポイントが調整されています。このときはスタート・ポイント/エンド・ポイントの設定をキャンセル(P. 27)してから、以下の操作を行ってください。

3. 音を鳴らしながら、新たにスタート・ポイントにしたいタイミングで [MARK] ボタンを押します。
4. さらに、新たにエンド・ポイントにしたいタイミングで、[MARK] ボタンを押します。



メモ

手順 3 と 4 の間で BPM (テンポ) を設定すると、手順 4 で [MARK] ボタンを押したタイミングの直近の拍の位置 (スタート・ポイントから BPM 値に合わせた拍単位の位置) にエンド・ポイントが自動的に設定されます。BPM を設定するには、[TIME / BPM] ボタンを押して点灯させてから [CTRL 2] つまみを回すか、[TAP TEMPO] ボタンを複数回押します。



エンド・ポイントだけを調節する場合

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。
2. [MARK] ボタンを押しながら再生範囲を調節したいパッドを押して、音を鳴らします。
3. 音が鳴り始めたら、[MARK] ボタンから指を離します。
4. 音を鳴らしながら、新たにエンド・ポイントにしたいタイミングで [MARK] ボタンを押します。

メモ

スタート・ポイント、エンド・ポイントの変更をキャンセルして設定をやり直したいときは、音を鳴らしている間に [MARK] ボタンを押して消灯させてください。

スタート・ポイントだけを調節する場合

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。
2. 再生範囲を調節したいパッドを押して、音を鳴らします。

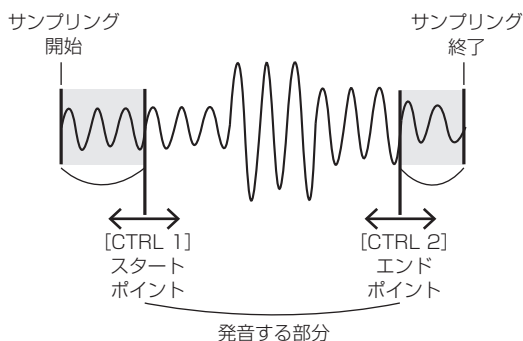
メモ

[MARK] ボタンが点灯している場合は、すでにスタート・ポイント/エンド・ポイントが調整されています。このときはスタート・ポイント/エンド・ポイントの設定をキャンセル(P. 27)してから、以下の操作を行ってください。

3. 音を鳴らしながら、新たにスタート・ポイントにしたいタイミングで [MARK] ボタンを押します。
4. パッドの発音を停止させます。

スタート・ポイント、エンド・ポイントの微調整

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。
2. 再生範囲を調節したいパッドを鳴らして、カレント・パッドにします。
3. [START / END / LEVEL] ボタンを押して点灯させます。
4. [CTRL 1] つまみでスタート・ポイント、[CTRL 2] つまみでエンド・ポイントを調整します。
5. 調整が終わったら [START / END / LEVEL] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

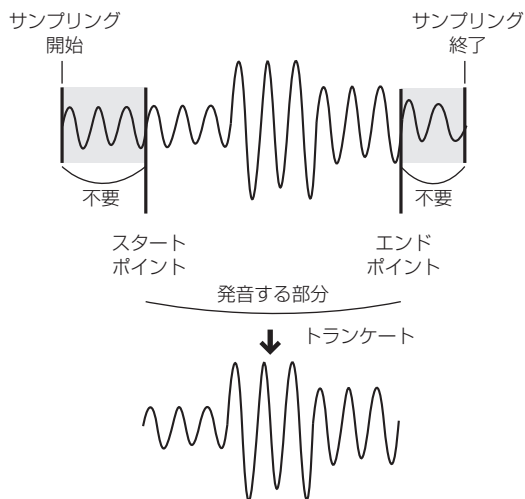


メモ

- 調整中でもパッドを押すと音を鳴らすことができます。
- [CTRL 1、2] つまみとも、中央を現在のポイントとして、左に回すと前の方へ、右に回すと後ろの方へスタート・ポイント/エンド・ポイントが移動します。
- サンプル開始/終了ポイントを超えて再生範囲を調整することはできません。
- 調整を取り消したいときは、[CTRL 1、2] つまみを中央に戻し、表示が「0」になるようにしてください。
- 1回の操作で移動できる範囲は、スタート・ポイント/エンド・ポイントともに前後およそ 130 msec です。これ以上の調整をしたいときは、同じ操作を繰り返してください。
- スタート・ポイントとエンド・ポイントの間隔を約 100 msec 以下に設定することはできません。
- 操作の結果、スタート・ポイント/エンド・ポイントが共にサンプルの先頭/最後になったときは、[MARK] ボタンが消灯します。
- [MARK] ボタンが消灯している（再生範囲が調整されていない）サンプルのスタート・ポイント/エンド・ポイントを調整すると、[MARK] ボタンが点灯します。
- スタート・ポイント/エンド・ポイントを移動すると、それに伴ってサンプルのBPM（テンポ）が自動的に変化します。ただし、BPMにわずかな誤差が生じます。

サンプルの不要な部分を消去する（トランケート）

スタート/エンド・ポイントを設定して不要な部分を消去（トランケート）することで、メモリーを効率よく使うことができます。



ご注意！

この操作は取り消すことはできません。

1. トランケートしたいパッドを鳴らして、カレント・パッドにします。
2. [MARK] ボタンが点灯している（再生範囲が調整されている）ことを確認します。
3. [DEL] ボタンを押します。
4. [MARK] ボタンを押します。ディスプレイの表示が「t r」に変わります。
5. [DEL] ボタンを押すとトランケートがはじまります。ディスプレイの「t r」が消えたら、変換は完了です。

メモ

変換作業が完了するまで、絶対に電源を切らないでください。SDカードが破壊される恐れがあります。

サンプルのBPMを変更する

サンプルのBPM（テンポ）は、サンプルのスタート・ポイントとエンド・ポイントの間の長さによって自動的に決まります。しかしその長さによっては、BPMの計算値が本来のBPMの半分や2倍になることがあります。このような場合は、次の操作でBPMを修正してください。

1. 変更したいパッドを鳴らして、カレント・パッドにします。
2. [TIME / BPM] ボタンを押して点灯させます。
3. [CTRL 2] (BPM) つまみを回して、BPMの値を変更します。表示値を半分にしたいときは左に、倍にしたいときは右に回してください。
4. 変更が終わったら、もう一度 [TIME / BPM] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

メモ

この操作中、[CTRL 1] つまみはタイム・モディファイとして機能します。誤って操作してしまわないようご注意ください。

ピッチを変えずにサンプルの長さを変更する（タイム・モディファイ）

テンポが違うようなサンプルをつなげて演奏したい場合、タイム・モディファイ機能を使うとテンポが乱れることなく自然な感じでつなぐことができます。

リバース再生(P. 12)が設定されているときは、タイム・モディファイの設定が無効になり、効果がかかりません。タイム・モディファイを使用するときは、リバース再生をオフにしてください。

1. 変更したいパッドを鳴らして、カレント・パッドにします。
2. [TIME / BPM] ボタンを押して点灯させます。
3. [CTRL 1] (TIME) つまみを回すと、長さが変わります。ディスプレイにはサンプルの長さがBPMで表示されます。
4. 変更が終わったら、もう一度 [TIME / BPM] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

メモ

- [CTRL 1] (TIME) つまみを左に回しきるとタイム・モディファイがオフになり、本来の長さで演奏されます（「OFF」と表示されます）。
- [CTRL 1] (TIME) つまみを右に回しきるとパターンのテンポに応じて演奏されるようになります（「Pt_n」と表示されます）。

- BPMの可変範囲は、サンプル本来のBPMの半分～約1.3倍となります。ただしBPMが40～200の範囲を超えることはできません。
- タイム・モディファイが「Pt_n」に設定されている場合は、サンプル本来のBPMの半分～約1.3倍の範囲にあるパターンテンポに応じて、サンプルのテンポが変わります。パターンテンポが範囲外に設定されている場合、サンプルのテンポは上限値（200）または下限値（40）に制限されます。
- タイム・モディファイを設定したサンプルでは、音が細かく震えて聞こえたり、ノイズが聞こえることがあります。ご了承ください。

サンプルの一括削除

全バンクのサンプルをまとめて削除することができます。

メモ

1つまたは複数のサンプルを削除する場合は、『サンプルを削除する』(P.21)をご覧ください。

1. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。

点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。

2. [CANCEL] ボタンを押しながら [DEL] ボタンを押します。

ディスプレイに「dRL」と表示され、[DEL] ボタンが点灯します。[BANK] ボタンが点滅します。

3. [BANK] ボタンのいずれかを押します。

メモ

- プロテクト (P. 38) がかかっていると、「Pt_n」(Protected) と表示され、消去することはできません。
 - 削除を中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。
4. [DEL] ボタンを押します。

ディスプレイの「dRL」という表示が消えたら削除完了です。

ご注意!

削除が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。SDカードが破壊される恐れがあります。

2つのパッドのサンプルを入れ替える

2つのパッドの間でサンプルを入れ替えることができます。これにより、使いたいサンプルを一つのバンクに集めたりすることができます。

メモ

手順の途中で、それまでの操作を取り消したいときは、[CANCEL] ボタンを押してください。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [2] (EXCHANGE) を押します。

ディスプレイに「[HG]」と表示されます。

サンプルが割り当てられているパッドが点滅します。

2. サンプルを入れ替える一方のパッドを押します。
3. もう一方のパッドを押します。

メモ

違うバンクのパッドを選ぶこともできます。

2つのパッドが押されると、[REC] ボタンが点滅します。

4. [REC] ボタンを押すと、入れ替えが始まります。

ディスプレイの「[HG]」の表示が消えたら、入れ替えは完了です。

ご注意！

- 入れ替えるために必要な SD カードの空き容量がないと、ディスプレイに「FULL」と表示され、入れ替えができません。
- 入れ替え作業が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

サンプルを別のパッドにコピーする

あるパッドのサンプルを、別のパッドにコピーすることができます。これにより、同じサンプルを元にした、別のサンプルを作ることができます。

メモ

手順の途中で、それまでの操作を取り消したいときは、[CANCEL] ボタンを押してください。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [1] (COPY) を押します。

ディスプレイに「[PY]」と表示されます。

2. コピー元のパッドを押します。

コピー可能なパッドは点滅しています。

3. コピー先のパッドを押します。

メモ

違うバンクのパッドを選ぶこともできます。

2つのパッドが押されると、[REC] ボタンが点滅します。

4. [REC] ボタンを押すと、コピーが始まります。

ディスプレイの「[PY]」の表示が消えたら、コピーは完了です。

ご注意！

- コピーのために必要な SD カードの空き容量がないと、ディスプレイに「FULL」と表示され、コピーができません。
- コピー作業が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

パターン・シーケンサー

SP-404SX には、サンプルの演奏を記録するパターン・シーケンサー機能を搭載しています。フレーズのサンプルをいくつも組み合わせて簡単な曲を作ったり、リズムのサンプルを組み合わせてリズム・パターンを作ったりするのに便利です。

メモ

ここではパターン・シーケンサーの記録方法と応用的な使い方を解説します。パターン・シーケンサーの再生方法は『パターンを再生する』(P.14)をご覧ください。

パターンを録音する

サンプルの演奏をパターンに録音するときは、録音を停止するまでの間、指定した長さの小節数を繰り返し録音(ループ・レコーディング)しますので、サンプルの演奏を順番に重ねていく(オーバーダビング)することができます。

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Ptn」と表示され、パターンが割り当てられているパッドが点滅します。

2. [REC] ボタンを押して点灯させます。

パターンが割り当てられていないパッドがすべて点滅します。

3. [BANK] ボタンのいずれかを押して、録音したいパターン・バンクを選びます。

4. 録音するパターンを割り当てたいパッドを押します。

押したパッドが点灯し、他のパッドは消灯します。
[REC] ボタンが点滅し、メトロノームが鳴り始めます。

5. [START / END / LEVEL] ボタンを押して点灯させます。

6. [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して、メトロノームの音量を調節します。

7. [TIME / BPM] ボタンを押して点灯させます。

パターンのテンポ(BPM)がディスプレイに表示されます。

8. [CTRL 2] (BPM) つまみを回すか、テンポに合わせて [TAP TEMPO] ボタンを数回押して、パターンのテンポを調節します。

9. [LENGTH] ボタンを押して点灯させます。

録音するパターンの長さが、小節数でディスプレイに表示されます。

10. [CTRL 3] つまみを回して、パターンの長さを設定します。

設定されたパターンの長さの値がディスプレイに表示されます。

設定範囲：1 ~ 99

すでにデータがあるパターンは、現在の長さよりも短くすることはできません。

1 ~ 20 小節までは 1 小節単位、それを超える長さの場合は 4 小節単位で設定することができます。

11. [QUANTIZE] ボタンを押して点灯させます。

[LENGTH] ボタンが消灯し、ディスプレイにクォンタイズの設定値が表示されます。

メモ

クォンタイズとは

パッドを押してサンプルを演奏させると、どうしてもタイミングにばらつきが生じてしまいますが、このばらつきを自動的に正確なタイミングに補正して録音する機能がクォンタイズです。クォンタイズを設定しておくことで、4 分音符、8 分音符、16 分音符などの正確なタイミングに発音をそろえて録音することができます。

12. [CTRL 3] つまみを回して、クォンタイズを設定します。

設定したクォンタイズがディスプレイに表示されません。表示の意味は次のとおりです。

5,8	シャッフル・クォンタイズの 8 分音符のタイミングにそろえます。
5,16	シャッフル・クォンタイズの 16 分音符のタイミングにそろえます。
4	4 分音符のタイミングにそろえます。
4,3	3 連 4 分音符のタイミングにそろえます。
8	8 分音符のタイミングにそろえます。
8,3	3 連 8 分音符のタイミングにそろえます。
16	16 分音符のタイミングにそろえます。
16,3	3 連 16 分音符のタイミングにそろえます。
32	32 分音符のタイミングにそろえます。
OFF	クォンタイズを行いません。パッドを押したタイミングそのままに録音されます。

メモ

シャッフル・クォンタイズ(5,8、5,16)のときは、[CTRL 2] つまみで裏拍の跳ね具合を設定することができます。「50」で跳ねがない状態になります。一般に 60 ~ 66 付近で心地よいシャッフル感が得られます。

13. [QUANTIZE] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

14. [REC] ボタンを押します。

[REC] ボタンの点滅が点灯に変わり、録音が始まります。

実際に録音が始まるまで 1 小節のカウントが入りますので、メトロノームを聴きながら 1 小節分待ちます。このとき、拍に合わせて -4、-3、-2、-1 とカウントがディスプレイに表示されます。

カウントが終わると録音が始まり、ディスプレイに小節と拍が表示されます。

15. 録音したいタイミングでパッドを押します。

録音中は、パッドでサンプルを演奏することができるようになっています。また、バンク・ボタンを押してサンプル・バンクを切り替えることもできます。

押されたパッドのサンプルが鳴り、クオンタイズで設定したタイミングに補正されて録音されます。

ディスプレイに表示された小節数がパターンの長さの設定値を超えると、自動的に 1 小節目に戻って録音が続きます (ループ・レコーディング)。このとき、すでに録音した演奏が再生されます。

もう一度 [REC] ボタンを押してボタンを点滅させると、ディスプレイに「REH」と表示され、リハーサル状態になります。このとき、パッドを押すとサンプルの音が鳴りますが、録音されません。さらにもう一度 [REC] ボタンを押して点灯させると、リハーサル状態が解除され、通常の録音状態に戻ります。

次に録音するサンプルの音を確認するのに便利です。

16. さらに録音したいサンプルのパッドを押します。

前回録音したパッドの演奏と今回押したパッドの演奏が重ねて録音 (オーバーダビング) されます。いくつもサンプルを重ねたい場合や一度に録音することができない複雑な演奏でも、何回にも分けて録音することができます。

途中でクオンタイズを変更したいときは

1. [QUANTIZE] ボタンを押して点灯させます。
2. [CTRL 3] つまみを回して、クオンタイズの設定を変更します。
3. 設定後、[QUANTIZE] ボタンを押してボタンを消灯させます。

クオンタイズが設定され、その設定はすぐにパターンの録音へ反映されます。

17. 録音を終了させたいタイミングで、[CANCEL] ボタンを押します。

ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると、録音は完了します。

ご注意!

ドット点滅中は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

間違った演奏データを削除する

間違っただけの録音したサンプルの演奏を、サンプルのパッドを指定して削除することができます。

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Pn」と表示され、パターンが割り当てられているパッドが点滅します。

2. [REC] ボタンを押して点灯させます。

3. 削除したい演奏が録音されているパターンのパッドを押します。

押されたパッドが点灯し、他のパッドは消灯します。[REC] ボタンが点滅し、メトロノームが鳴り始めます。

4. [REC] ボタンを押して録音を開始します。

[REC] ボタンの点滅が点灯に変わり、録音が始まります。

録音されている演奏が再生されます。このとき、サンプルのパッドを押すと、その演奏が録音されてしまいます。

5. [DEL] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Ers」と表示されます。

6. 削除したいサンプルのパッドを、削除したいタイミングで押します。

パッドを押している間、ディスプレイのドットが点滅し、そのパッドの演奏が削除されます。

メモ

[HOLD] パッドを押している間は、すべてのパッドの演奏を削除することができます。

7. 必要に応じて、手順 6 を繰り返します。

8. 削除を終了するときは、[DEL] ボタンを押します。

[DEL] ボタンが消灯し、パターンは通常の録音状態に戻ります。

このとき、サンプルのパッドを押すと、その演奏が録音されてしまいます。

9. [CANCEL] ボタンを押して録音を終了します。

ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると録音は完了します。

ご注意!

ドット点滅中は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

パターンを削除する

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Ptn」と表示され、録音されているパッドが点滅します。

2. [DEL] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「dEL」と表示されます。

ディスプレイに「EFP」と表示されたときは、そのバンクにパターンが割り当てられているパッドがないことを意味します。

3. バンク・ボタンとパッドを押して、削除するパターンのバンクとパッドを指定します。

選んだパッドが点灯し、[DEL] ボタンが点滅します。

メモ

- パターンが割り当てられていない（消灯している）パッドを押しても無視されます。
 - 同じバンク内であれば、複数のパッドを同時に選ぶことができます。
 - プロテクト(P. 38)がかかっているバンクを指定すると、「Protect」(Protected) と表示され、削除することはできません。
 - 削除を中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。
4. [DEL] ボタンを押して削除を実行します。

削除処理中は [DEL] ボタンの点滅が点灯に変わり、ディスプレイのドットが点滅します。ドットの点滅が消えると、削除は完了します。

ご注意！

ドット点滅中は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

パターンの一括削除

全バンクのパターンをまとめて削除することができます。

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Ptn」と表示され、録音されているパッドが点滅します。

2. [CANCEL] ボタンを押しながら [DEL] ボタンを押します。

ディスプレイに「dRL」と表示され、[DEL] ボタンが点灯します。[BANK] ボタンが点滅します。

3. [BANK] ボタンのいずれかを押します。

メモ

- プロテクト (P. 38) がかかっていると、「Protect」(Protected) と表示され、削除することはできません。
- 削除を中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

4. [DEL] ボタンを押して削除を実行します。

削除処理中は [DEL] ボタンの点滅が点灯に変わり、ディスプレイのドットが点滅します。ドットの点滅が消えると、削除は完了します。

ご注意！

ドット点滅中は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

2つのパッドのパターンを入れ替える

2つのパッドの間でパターンを入れ替えることによって、パッドへのパターンの割り当てを変更することができます。

メモ

手順の途中で、それまでの操作を取り消したいときは、[CANCEL] ボタンを押してください。

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Ptn」と表示されます。

2. 『2つのパッドのサンプルを入れ替える』(P.31) に記載の手順でパターンを入れ替えます。

「サンプル」を「パターン」と読み替えて手順を実行してください。

パターンを別のパッドにコピーする

あるパッドのパターンを、別のパッドにコピーすることができます。これにより、同じパターンを元にした、別のパターンを作ることができます。

メモ

手順の途中で、それまでの操作を取り消したいときは、[CANCEL] ボタンを押してください。

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。

ディスプレイに「Ptn」と表示されます。

2. 『サンプルを別のパッドにコピーする』(P.31) に記載の手順でパターンをコピーします。

「サンプル」を「パターン」と読み替えて手順を実行してください。

SD カードについて

メモ

推奨する SD カード、SD カードの抜き挿しについては『SD カードを挿す』(P.10) をご覧ください。

SD カードの容量とサンプリング可能な時間については『サンプリング可能な時間』(P.25) をご覧ください。

SDカードのフォーマット (初期化)

ご注意!

- SD カードをフォーマットすると、カード内のデータはすべて削除されます。
- **製品に付属の SD カードはフォーマットしないでください!!** 製品に付属の SD カードにはプリロード・データが入っています。製品に付属の SD カードをフォーマットするとこれらのデータがすべて消えてしまいます。

製品に付属の SD カードを工場出荷時の状態に戻す

製品に付属の SD カードを工場出荷時の状態に戻すには、『工場出荷時の状態に戻す』(P. 40) をご覧ください。

1. [CANCEL] ボタンを押しながら [REMAIN] ボタンを押します。

[BANK] ボタンが点滅し、ディスプレイには「F1」と表示されます。

2. [BANK] ボタンのいずれかを押します。

[BANK] ボタンが点灯に変わり、[DEL] ボタンが点滅します。

メモ

フォーマットを中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

3. [DEL] ボタンを押します。

[DEL] ボタンが点灯し、フォーマットが実行されます。フォーマット実行中は、ディスプレイのドットが点滅します。

点滅が消えると、フォーマットは完了します。

ご注意!

- ドットが点滅している間は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊されて使用できなくなる恐れがあります。
- SD カードをフォーマットしたときに作成されたファイルやフォルダを変更/削除しないでください。SP-404SX で正しく認識されなくなります。

SD カードの内容をパソコンに保存する

市販のカードリーダーを使って SD カードの机身すべてをパソコンにコピーしてください。

別の SD カードにコピーする

たとえば、使用していた 1GB の SD カードの容量が一杯になって、より容量の大きな (16GB などの) 市販の SD カードにコピーする場合は、以下の手順で行ってください。

1. 使用している 1GB の SD カードの内容すべてをパソコンにコピーします。
2. 市販の SD カードを SP-404SX でフォーマットします (P. 35)。
3. パソコンを使って、手順 1. でコピーしたデータを、手順 2. でフォーマットした SD カードに上書きコピーします。

WAVEファイルのエクスポート

SP-404SX でサンプリングしたデータは SD カード上に WAVE ファイル (WAV / AIFF) として保存されます (『サンプリング・データの種類を決める』(P.25))。市販のカードリーダーを使って、SD カードをパソコンで読み込むことで、SP-404SX でサンプリングした WAVE ファイル (WAV / AIFF) をパソコンにコピーして使用することができます。

WAVE ファイル (WAV / AIFF) の見えかた

WAVE ファイル (WAV / AIFF) は、SD カードの以下のフォルダ内にあります。

ROLAND/SP-404SX/SMPL

パソコンを使って上記フォルダの中を見ると、WAVE ファイル (WAV / AIFF) のファイル名は以下のように見えます。

```
A0000001.WAV
A0000002.WAV
      :
A0000012.WAV
B0000001.WAV
      :
J0000001.WAV
```

メモ

ファイル名先頭のアルファベットはバンク名、数字はパッド名です。

B0000003.WAV は、B バンクのパッド [3] のサンプルになります。

WAVEファイルのインポート

WAVE ファイルを SD カードから読み込み、パッドに割り当てることができます。

メモ

付属ソフト「SP-404SX Wave Converter」を使うと、パソコンでより簡単に WAVE ファイルのインポートができます。詳しくは『パソコンの WAVE ファイルを読み込む』(P.22)をご覧ください。

1. パソコンを使って、SD カードの「/ROLAND/IMPORT」フォルダの中に WAVE ファイル (WAV / AIFF) をコピーします。
2. SD カードを SP-404SX に挿して SP-404SX の電源を入れます。
3. [PATTERN SELECT] ボタンが消灯していることを確認します。

点灯していたら、[PATTERN SELECT] ボタンを押してボタンを消灯させます。

4. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [3] (IMPORT) を押します。

ディスプレイに「[IMP] (File Import) と表示され、[REC] ボタンが点灯し、パッド [1] ~ [12] が点滅します。

5. インポート先のサンプル・バンクを選びます。

[BANK] ボタンのいずれかを押します。

メモ

プロテクト(P. 38)がかかっているバンクを指定すると、「Prot」(Protected) と表示され、インポートはできません。

6. インポート先のパッドを選びます。

押したパッドが点灯し、その他のパッドの点滅が消えます。

[REC] ボタンも点滅します。選んだパッド (ファイルが複数の場合は、それ以降のパッド) にサンプルが割り当てられていても、上書きされます。

7. [REC] ボタンを押して点灯させます。

インポートがはじまります。インポート中は、ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると、インポートは完了します。

インポートのルール

- ファイル名のアスキー・コード順 (数字、アルファベット大文字、小文字の順) に WAVE ファイルをインポートします。
- ファイルが複数ある場合は、選んだパッドを先頭にして、ファイル名順にインポートされます。
- 既にサンプルが存在している場合も上書きしてインポートします。ただし、プロテクトされるバンクがある場合は、そのバンクを飛び越してインポートします。
- インポートされた「/ROLAND/IMPORT」フォルダ内の WAVE ファイル (WAV / AIFF) は自動的に削除されます。

インポート時の注意

- SP-404SX でフォーマットした SD カードをご使用ください。製品に付属の SD カードを使用する場合は、フォーマットは不要です。
- インポートには、WAVE ファイルを再生したときの半分程度の時間がかかります。
- 一度インポートし始めたら、途中でキャンセルできません。
- インポートするときに扱える WAVE ファイルの数は最大 120 個です。SD カード上にこの数を超えて WAVE ファイルを置くと、ファイルをアスキー・コード順でインポートできません。
- AIFF ファイルのループ・ポイントの設定は無効になります。

「[EMP]」と表示されたら!?

- SD カードの「/ROLAND/IMPORT」フォルダの中に WAVE ファイルがない場合は、「[EMP] (Empty) と表示され、インポートはできません。
- ファイル名の先頭の文字に「」は使えません。一部の文字 (\ / : ; * ? " < > !) もファイル名に使えません。

「[UNS]」と表示されたら!?

- SP-404SX に適合しない形式の WAV / AIFF をインポートしようすると「[UNS] (Unsupported) とエラーメッセージが表示され、インポートすることはできません。
- 圧縮された WAVE ファイルをインポートすることはできません。
- 極端に時間が短い (100ms 以下の) WAVE ファイルは、インポートできない場合があります。

バックアップ・データを保存する (バックアップ・セーブ)

バックアップ・データ (サンプル・バンクやパターン・バンクを含むすべてのデータ) を SD カードに保存します。最大 12 個まで保存できます。

メモ

サンプルやパターンを多く保存してカードの容量が不足すると、保存できるバックアップ・データの数は減少します。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [6] (BACKUP SAVE) を押します。

ディスプレイに「SRU」と表示され、バックアップ・データが保存されていないパッドが点滅します。

2. 保存先のパッドを 1 つ選びます。

選んだパッドが点灯し、他のパッドの点滅が消え、[REC] ボタンが点滅します。

メモ

中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

3. [REC] ボタンを押します。

[REC] ボタンが点灯し、バックアップ・セーブが実行されます。実行中は、ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると、バックアップ・セーブは終了します。

ご注意！

ドットが点滅している間は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

バックアップ・データを読み込む (バックアップ・ロード)

バックアップ・データ (サンプル・バンクやパターン・バンクを含むすべてのデータ) を SD カードから読み込みます。

ご注意！

バックアップ・ロードを実行すると、すべてのサンプルやパターンが読み込んだバックアップ・データに置き替わります。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [5] (BACKUP LOAD) を押します。

ディスプレイに「Load」と表示され、バックアップ・データが保存されているパッドが点滅します。

メモ

- プロテクト (P. 38) がかかっていると、「Pr t」(Protected) と表示され、バックアップ・ロードはできません。

- SD カードにバックアップ・データがないときは、「Err」 と表示され、バックアップ・ロードはできません。

2. パッドを 1 つ押して、読み込むバックアップ・データを選びます。

選んだパッドが点灯し、他のパッドの点滅は消えます。

[REC] ボタンが点滅します。

メモ

中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

3. [REC] ボタンを押します。

[REC] ボタンが点灯し、バックアップ・ロードが実行されます。実行中は、ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると、バックアップ・ロードは終了します。

ご注意！

ドットが点滅している間は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

バックアップ・データを削除する (バックアップ・デリート)

SD カード上にあるバックアップ・データを削除します。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [5] (BACKUP LOAD) を押し、バックアップ・ロード画面にします。

2. [DEL] ボタンを押します。

ディスプレイに「bdL」と表示され、バックアップ・データが保存されているパッドが点滅します。

3. パッドを 1 つ押して、削除するバックアップ・データを選びます。

選んだパッドが点灯し、他のパッドの点滅は消えます。

[DEL] ボタンが点滅します。

メモ

中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

4. [DEL] ボタンを押します。

[DEL] ボタンが点灯し、バックアップ・デリートが実行されます。実行中は、ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると、バックアップ・デリートは終了し、バックアップ・ロード画面に戻ります。

ご注意！

ドットが点滅している間は、絶対に電源を切らないでください。SD カードが破壊される恐れがあります。

プロテクト機能について

SD カード上のサンプルやパターンが誤って書き換えられたり削除されたりしないようにするため、プロテクトをかけることができます。

ご注意！

製品付属 SD カードのプリロード・データが入ったサンプル・バンク [A] ~ [F]、パターン・バンク [A] ~ [E] にはプロテクトがかかっています。これらのプロテクトを解除すると、設定が変更されたりデータが消えてしまう可能性があります。SD カードを製品出荷時の状態に戻したいときは、『工場出荷時の状態に戻す』（P. 40）をご覧ください。

すべてのサンプルやパターンにプロテクトをかける

1. [REMAIN] ボタンを押しながら、電源を入れます。

ディスプレイに「P_{on}」と表示され、バンク A ~ J のサンプルやパターンにプロテクトがかかります。

ご注意！

SP-404SX で SD カードを使うときは、カードのバンクにプロテクトがかかっていますが、パソコンなどで同じ SD カードを使うと、そのカードのバンクにプロテクトはかかりません。

メモ

電源を切った後も、この設定は変わりません。

すべてのプロテクトを解除する

1. [CANCEL] ボタンを押しながら、電源を入れます。

ディスプレイに「P_{oF}」と表示され、バンク A ~ J のサンプルやパターンのプロテクトが解除されます。

メモ

- 工場出荷時のサンプルやパターンのプロテクトが解除されます。
- 電源を切った後も、この設定は変わりません。

バンクごとにプロテクトをかける

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押してプロテクトする対象（サンプルまたはパターン）を選びます。

- サンプル・バンクをプロテクトするときは [PATTERN SELECT] ボタンを消灯
- パターン・バンクをプロテクトするときは [PATTERN SELECT] ボタンを点灯

2. [BANK] ボタンを押して、プロテクトをかけるバンクを選択します。

3. [FUNC] ボタンを押しながら [REMAIN] ボタンを押します。

「P_{on}」と表示されます。

[REC] ボタンが点滅します。

メモ

中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

4. [REC] ボタンを押します。

選んだバンクにプロテクトがかかります。

バンクごとのプロテクトを解除する

1. [PATTERN SELECT] ボタンを押してプロテクトを解除する対象（サンプルまたはパターン）を選びます。

- サンプル・バンクをプロテクト解除するときは [PATTERN SELECT] ボタンを消灯
- パターン・バンクをプロテクト解除するときは [PATTERN SELECT] ボタンを点灯

2. [BANK] ボタンを押して、プロテクトを解除するバンクを選択します。

3. [FUNC] ボタンを押しながら [CANCEL] ボタンを押します。

「P_{oF}」と表示されます。

[REC] ボタンが点滅します。

メモ

中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。

4. [REC] ボタンを押します。

選んだバンクのプロテクトが解除されます。

その他の機能について

ファンクション機能一覧表

[FUNC] ボタンを押しながら以下のパッドを押すことで、各種設定をすることができます。

操作の詳細は、下表に記載のページをご覧ください。

パッド名	機能名	説明	ページ
TAP TEMPO	PAUSE	発音を一時停止する	P. 12
1	COPY	サンプルやパターンをコピーする	P. 31、P. 34
2	EXCHANGE	パッドのサンプルやパターンを入れ替える	P. 31、P. 34
3	IMPORT	SD カードから WAV / AIFF ファイルを読み込む	P. 36
4	AUTO TRIG LEVEL	オート・サンプリングのトリガー・レベルを調整する	P. 25
5	BACKUP LOAD	バックアップ・データを読み込む	P. 37
6	BACKUP SAVE	バックアップ・データを保存する	P. 37
7	ILLUMINATION	ディスプレイ・イルミネーションとスリープの設定をする	P. 40
8	EFFECT LIMIT	エフェクト・リミット・モードを設定する	P. 42
9	MIDI CH	MIDI チャンネルを変更する	P. 47
10	MIDI SYNC	外部 MIDI 機器と同期させる	P. 47
11	INPUT GAIN	入力ゲインを調整する	P. 39
12	OUTPUT GAIN	出力ゲインを調整する	P. 39

入力ゲインを調整する

SP-404SX の入力ゲインを調節します。

メモ

音量を調節できない機器で PEAK ランプが常に点灯する場合は、SP-404SX の入力ゲインを「-10dB」に設定してください。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [11] (INPUT GAIN) を押します。
2. [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して設定します。

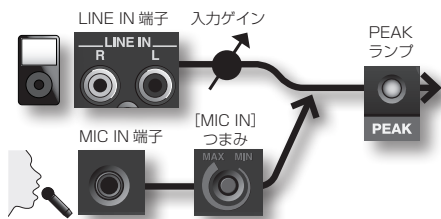
つまみを回すと、[REC] ボタンが点滅します。

設定値：-10dB、0dB

3. [REC] ボタンを押して決定します。

メモ

- 中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。
- 電源を切った後も、この設定は変わりません。



出力ゲインを調整する

SP-404SX 全体の音量を調節します。

メモ

SP-404SX の最大同時発音数は 12 音です。同時発音数が 1 ~ 12 音の間では、音量に大きな差が生じます。同時に発音させるパッドが少ないときや、SP-404SX を DJ ミキサーなどに接続してエフェクターとして使用するとき、この内部処理レベルを大きくすると、より大きな音量で出力することができます。同時に発音させるパッドが多くて音がひびくときは、この内部処理レベルを小さくします。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [12] (OUTPUT GAIN) を押します。
2. [CTRL 3] (LEVEL) つまみを回して設定します。

つまみを回すと、[REC] ボタンが点滅します。

設定値：-3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB

3. [REC] ボタンを押して決定します。

メモ

- 中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。
- 電源を切った後も、この設定は変わりません。

工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)

SD カード上のサンプルやパターンのデータ、本体設定のデータを工場出荷時の状態に戻します。この操作を行うには、別途パソコンと市販のカード・リーダーが必要です。

ご注意!

この作業を行うと全バンクのサンプルやパターンのデータ、本体設定はすべて失われます。必要に応じてバックアップしてください (P. 37)。

1. SP-404SX でフォーマット (P. 35) された SD カードを用意します。

製品に付属の SD カードや既に SP-404SX で使用中の SD カードを使う場合、フォーマットは不要です。

2. [CANCEL] ボタンを押しながら電源を入れ、すべてのプロテクトを解除します。

ディスプレイに「P. oFF」と表示され、サンプルやパターンの全バンクのプロテクトが解除されます。

3. SP-404SX の電源をオフにします。

4. パソコンを使って「SP-404SX UTILITY CD-ROM」の「FCTRY」フォルダを SD カードのルート・ディレクトリ (一番上の階層) にコピーします。

メモ

- 製品に付属の SD カードには、「FCTRY」フォルダが収録されていますので、手順 4. は不要です。
- 「SP-404SX UTILITY CD-ROM」の「FCTRY」フォルダには、工場出荷時のプリロード・データが収録されています。

5. SD カードを SP-404SX に挿し、[CANCEL]、[REMAIN]、[DEL] ボタンを押しながら電源を入れます。

ディスプレイに「r. n」が表示され、[REC] ボタンが点滅します。

メモ

中止するときは、そのまま電源を切ってください。

6. 工場出荷の状態にしてもよいときは、[REC] ボタンを押します。

[REC] ボタンが点灯し、ディスプレイのドットが点滅します。点滅が消えると完了です。

ご注意!

ドットが点滅している間は、絶対に電源を切らないでください。データが破壊される恐れがあります。

メモ

製品に付属の SD カードや既に SP-404SX で使用中の SD カードを使用して、手順 2. から操作した場合には、カード上にあるバックアップデータが消去されることはありません。

全バンクのサンプル/パターンのデータを空にする

SD カードの「FCTRY」フォルダが無い状態で手順 5. 以降を実行すると、すべてのバンクのサンプルとパターンのデータを空の状態にすることができます。SP-404SX 本体の設定は工場出荷状態となります。

SP-404SX 本体の設定だけを工場出荷時の状態にする

SD カードを装着せずに手順 5. 以降を実行すると、本体設定だけを工場出荷状態にすることができます。

ディスプレイ・イルミネーションとスリープの設定をする

ディスプレイの周りを照らすイルミネーションの点灯色とスリープの設定をします。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [7] (ILLUMINATION) を押します。
2. [CTRL 3] つまみを回して設定を変更します。
つまみを回すと、[REC] ボタンが点滅します。

設定	説明
oFF	点滅しません。 パターン再生中も、点滅しません。
r b	赤、青の 2 色で点滅します (初期値)。
b	青色のみで点滅します。
r	赤色のみで点滅します。
SLP	約 5 分間操作をしないと SP-404SX のボタンをすべて消灯するスリープ・モードとなります。電池駆動時にはバッテリーの寿命を延ばすことができます。 <ul style="list-style-type: none">• スリープ中は表示器内の 3 つのドットが順番に点滅します。• スリープを解除するにはいずれかのボタンを押します。• ディスプレイ・イルミネーションの設定は「oFF」と同じになります。• スリープ中は発音を行いません。

3. [REC] ボタンを押して決定します。

メモ

- 中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。
- 電源を切った後も、この設定は変わりません。

バージョン情報を確認する

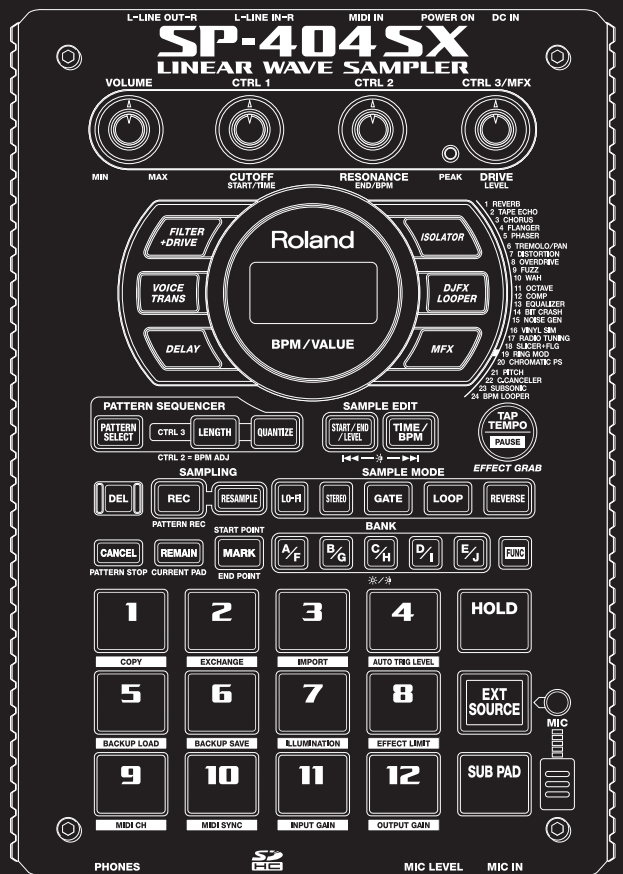
1. [MARK] ボタンを押しながら、電源を入れます。

ディスプレイにバージョン情報が表示されます。

メモ

[CANCEL] ボタンを押すと通常の状態になります。

資料編



エフェクト一覧

エフェクト・リミット・モード

エフェクト・リミット・モードをオンにすると、エフェクトの効き具合を抑えられ、音が発振したり極端な大音量になったりするのを防ぐことができます。大音量下のクラブやライブハウスなどで使用すると便利な場合があります。

エフェクト・リミット・モードの効果があるパラメーターには『エフェクト一覧』に★マークがついています。

1. [FUNC] ボタンを押しながらパッド [8] (EFFECT LIMIT) を押します。

2. [CTRL 3] つまみを回して設定します。

[REC] ボタンが点滅します。

[L_{ON}]: エフェクト・リミット・モードをオンにする

[L_{OFF}]: エフェクト・リミット・モードをオフにする

3. [REC] ボタンを押して確定します。

メモ

- 中止するときは、[CANCEL] ボタンを押します。
- 電源を切った後も、この設定は変わりません。

直接ボタンを押して選べるエフェクト

種類	CTRL 1 の機能 (表示)	CTRL 2 の機能 (表示)	CTRL 3 の機能 (表示)
FILTER+DRIVE	CUTOFF (C _{OFF})	RESONANCE (r _{ES}) ★	DRIVE (d _{RU}) ★
オーバードライブ付きのロー・パス・フィルターです。高音域をカットし、歪みを加えます。	カットする周波数を調節。	カットオフ周波数における周波数特性のピーク量を調節。	歪みを付加。
VOICE TRANS	FORMANT (F _r)	EFFECT LEVEL (EFF)	DIRECT LEVEL (d _r)
人間の声を加工して、いろいろなボイスを作り出します。	声の特徴 (フォルマント) を調節。	エフェクト音の音量を調節。	ダイレクト音の音量を調節。
DELAY	DELAY TIME (t ₃₂ ~ t ₁) *1	FEEDBACK (F _{db}) ★	BALANCE (b _{RL})
音を繰り返します。	繰り返す時間間隔を調節。	繰り返す回数を調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
ISOLOTOR	LOW (L _o) ★	MID (M _i) ★	HIGH (H _i) ★
低/中/高音域の音の抽出や削除をします。	低音域を抽出/削除。	中音域を抽出/削除。	高音域を抽出/削除。
DJFX LOOPER	LENGTH (L _{EN}) ★	SPEED (- t ₁₀ ~ t ₁₀)	LOOP SW (OFF / ON)
入力音を短い周期でループさせます。入力音の再生方向と再生スピードを変えて、ターンテーブルを触っているような効果を付加します。	ループの長さを設定。	再生方向と再生スピードを調節。12時より左に回すと逆再生、12時より右に回すと正方向に再生。12時で再生停止。	音が鳴っているときにオンにすると、その時点の音をループ。オフにすると、ループ解除。

MFX

番号	種類	CTRL 1 の機能 (表示)	CTRL 2 の機能 (表示)	CTRL 3 の機能 (表示)
1	REVERB	REVERB TIME (t _r)	STONE (t _{ON})	BALANCE (b _{RL})
	音に残響を加えます。	残響時間を調節。	残響音の音質を調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランス。
2	TAPE ECHO	RATE (r _{RE})	INTENSITY (i _{RE}) ★	BALANCE (b _{RL})
	往年のテープ式エコーの効果です。	テープ・スピードを設定。	エコー音の繰り返し量を設定。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
3	CHORUS	DEPTH (d _{PE})	RATE (r _{RE})	BALANCE (b _{RL})
	音に広がりや厚みを付けます。	音の揺れの深さを調節。	揺れの周期を調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
4	FLANGER	DEPTH (d _{PE})	RATE (r _{RE})	FEEDBACK (F _{db}) ★
	ジェット機の上昇音/下降音のようなウネリを付けます。	ウネリの深さを調節。	ウネリの速さを調節。	エフェクト音を入力に戻す割合を調節。

番号	種類	CTRL 1 の機能 (表示)	CTRL 2 の機能 (表示)	CTRL 3 の機能 (表示)
5	PHASER	DEPTH (dPt) ★	RATE (rRt)	MANUAL (RRn)
	位相をずらした音を加えてウネリを付けます。	ウネリの深さを調節。	ウネリの速さを調節。	効果音の音の高さを調節。
6	TREMOLO / PAN	DEPTH (dPt)	RATE (rRt)	WAVEFORM (Lrfl / PRn)
	周期的に音量または定位 (パン) を変化させます。	音量/定位の変化量を調節。	音量/定位変化の速さを調節。	音量/定位変化の周期カーブを変更。左に回すと音量変化、右に回すと定位変化。
7	DISTORTION	DRIVE (drU) ★	TONE (ton) ★	LEVEL (LEU) ★
	音を激しく歪ませます。	歪み具合を調節。	音質を調節。	音量を調節。
8	OVERDRIVE	DRIVE (drU) ★	TONE (ton) ★	LEVEL (LEU) ★
	音をマイルドに歪ませます。	歪み具合を調節。	音質を調節。	音量を調節。
9	FUZZ	DRIVE (drU) ★	TONE (ton) ★	LEVEL (LEU) ★
	音に倍音を加えて激しく歪ませます。	歪み具合を調節。	音質を調節。	音量を調節。
10	WAH	PEAK (PEt)	RATE (rRt)	MANUAL (RRn)
	ワウ効果が得られます。	効果のかかる周波数の幅を調節。	揺れの速さを調節。	効果音の音の高さを調節。
11	OCTAVE	-2OCT LEVEL (oL2)	-1OCT LEVEL (oL1)	DIRECT LEVEL (dr)
	オクターブ下の音を加えます。	2 オクターブ下の音を付加。	1 オクターブ下の音を付加。	ダイレクト音の音量を調節。
12	COMP	SUSTAIN (Su5)	ATTACK (RtL / rEL) ★	LEVEL (LEU) ★
	音の粒立ちをそろえます。	コンプレッサーのかかり具合を調節。	音のアタック感を調節。リミット・モード・オン時 (rEL) はリリース感を調節。	音量を調節。
13	EQUALIZER	LOW (Lo) ★	MID (M, d) ★	HIGH (Hi) ★
	音域ごとの音量を調整します。	低域の音量を調節。	中域の音量を調節。	高域の音量を調節。
14	BIT CRASH	SAMPLE RATE (rRt)	BIT (b, t) ★	FILTER (FLt)
	ローファイ・サウンドを作ります。	サンプリング周波数を調節。	ビット数を調整。	フィルターの効き具合を調節。
15	NOISE GEN	WHITE NOISE (WhL)	DISC NOISE (d, 5)	HUM NOISE (Hufl)
	ローファイ効果に加えて、ホワイト・ノイズ、レコード・ノイズなどのノイズを作り出します。	「サー」というノイズの音量を調節。	「プチッ」というノイズの音量を調節。	「ブーン」というノイズの音量を調節。
16	VINYL SIM	FREQUENCY RANGE (rnf)	NOISE LEVEL (no5)	WOW / FLUTTER (FLU)
	アナログ・レコード盤で鳴らしているような音を再現します。	再生システムの周波数特性を調節。	ノイズの音量を調節。	アナログ盤の回転ムラを調節。
17	RADIO TUNING	DETUNE (tUn)	NOISE LEVEL (no5)	BALANCE (bRl)
	ラジオから聞こえるような音を再現します。	ラジオのチューニングのずれ具合を調節。	ノイズの音量を調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
18	SLICER+FLG	TIMING PTN (PT1 ~ PT6) (*2)	RATE (t32 ~ t1) (*1)	FEEDBACK (Fdb) ★
	音を連続的にカットします。フランジャー付きです。	音をカットするタイミング。	TIMING PTN の長さを調節。	フランジャーの効き具合を調節。
19	RING MOD	FREQUENCY (Fr9) ★	SENS (SEN) ★	BALANCE (bRl)
	金属的な音質に変化させます。	金属音の音の高さを調節。	周波数の変調のかかり具合を調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
20	CHROMATIC PS	PITCH1 (-L ~ LL)	PITCH2 (-L ~ LL)	BALANCE (bRl)
	ピッチを半音単位で変える、2 ボイスのピッチ・シフターです。	ピッチ 1 を ±1 オクターブの範囲で半音単位で変化。	ピッチ 2 を ±1 オクターブの範囲で半音単位で変化。	エフェクト音とダイレクト音のバランスを調節。
21	PITCH	PITCH (P, t)	FEEDBACK (Fdb) ★	BALANCE (bRl)
	ピッチを変えます。	ピッチの変化量を調節。	ピッチ・シフト音の繰り返し量を調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
22	C.CANCELER	L-R BALANCE (L-r)	LOW BOOST (Lo)	HIGH BOOST (Hi)
	ボーカルなど、中央に定位している音を消します。	一番よく消えるポイントの調整。	ベースなど、中央定位で低域の音を増強。	高域の音を増強。

番号	種類	CTRL 1 の機能 (表示)	CTRL 2 の機能 (表示)	CTRL 3 の機能 (表示)
23	SUBSONIC	PITCH (P, t)	THRESHOLD (tHr)	BALANCE (bRL)
	エフェクターへの入力音の音量によって、低音のサイン波を加えます (*3)。	サイン波の周波数を調節。	サイン波が鳴り始める音量レベルを調節。	ダイレクト音とエフェクト音の音量バランスを調節。
24	BPM LOOPER	LENGTH (LEn) ★	TIMING (oFF, i~B)	LOOP SW (oFF / on)
	入力音を短い周期でループさせます。	ループの長さを設定。	小節中で、ループさせた音が自動的に鳴り始めるタイミング (8分音符単位) を設定 (*4)。ループを自動的に鳴らしたくない場合は「oFF」。	音が鳴っているときにオンになると、その時点の音をループ。オフで、ループ解除。

※：FLANGER、PHASER は、[MFx] ボタン+ [CTRL 1] つまみで、ダイレクト音と、エフェクト音の音量バランスを調整できます。

*1：エフェクトがかかっているサンプルのうち、もっとも長いサンプルのテンポを基準として、音符単位で設定します。

設定できる音符の種類：

32分音符 (t32) / 16分音符 (t16) / 3連8分音符 (t8t) / 付点16分音符 (t16.) / 8分音符 (t8) / 3連4分音符 (t4t) / 付点8分音符 (t8.) / 4分音符 (t4) / 3連2分音符 (t2t) / 付点4分音符 (t4.) / 2分音符 (t2) / 付点2分音符 (t2.) / 全音符 (t1)

ただし、ディレイ・タイムは約2000 msec を超える設定を選ぶことはできません。

パターンの再生中は、パターンのテンポが基準となります。

*2：[CTRL] つまみを回して選ぶパターンは以下のようになっています。

TIMING PTN の周期は、エフェクトがかかっているサンプルの中で最も長いサンプルのテンポに同期します。

ただし、パターンが再生中であれば、パターンのテンポに同期します。

同期速度は RATE によって調節することができます。

RATE 最大 ([CTRL 2] つまみを右に回し切る)：TIMING PTN の 1 周期が 1 小節に相当

RATE 最小 ([CTRL 2] つまみを左に回し切る)：TIMING PTN の 1 周期が 32 分音符に相当

となります。[CTRL 2] つまみの位置によって、32 分音符～1 小節を選ぶことができます。

*3：[CTRL 3] つまみのバランスを 12 時の方向へ回し、[CTRL 1] つまみのピッチを右に回しきって、入力ソースに対して適度にサイン波が鳴るように [CTRL 2] つまみのスレッシュホールドを設定します。スレッシュホールドの設定が終わったら、ピッチとバランスを調節します。ドラムのキックなどの補強用に便利です。

*4：TIMING の周期は、エフェクトがかかっているサンプルの中で最も長いサンプルのテンポに同期します。ただし、パターンが再生中であれば、パターンのテンポに同期します。

エラーメッセージ一覧

メッセージ	説明
Eject Eject	SD カードが抜かれたので、処理できません。 ※ 電源が入っているときは、カードを抜かないでください。
Lock Lock	SD カードがロックされています。SP-404SX は SD カードがロックされた状態では動作しません（ディスプレイに「Lock」と表示されます）。SD カードのロックを解除してご使用ください（P. 10）。 デリートするサンプル、パターン、バックアップ・データがありません。
Empty Empty	バックアップ・ロードするデータがありません。 インポートする WAV または AIFF がありません。
Error Error	不良データが発見されたため、修復または削除しました。
Memory Full Memory Full	SD カードの容量が不足しているため、処理できませんでした。 サンプリング中のサンプルが 2GB（ステレオで約 180 分）を超えました、サンプリングを停止します。
Protected Protected	プロテクトが設定されているので操作できません。操作を続ける場合は「プロテクト機能について」(P.38)に記載の手順でプロテクトを解除してください。
Unsupported format Unsupported format	SP-404SX に適合しない形式の WAV または AIFF がありましたので、処理を中断しました。

トラブルシューティング

ここでは、正しく動作しないときのチェック・ポイントと対処方法をまとめています。症状に合わせて確認してください。

トラブル	確認事項	対処
音が出ない/音量が小さい	SP-404SX や接続機器の電源は入っていますか？	専用の AC アダプターを使用してください。 新しい電池が入っているか確認してください。
	SP-404SX と外部機器が正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	オーディオ・ケーブルが断線していませんか？	ケーブルを交換してください。
	接続しているアンプやミキサーのボリュームが下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。
	SP-404SX のボリュームが下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。
	ヘッドホンから音が出ているか確認してみてください。	ヘッドホンから音が出ているのであれば、接続コードが断線していたり、接続しているアンプやミキサーに原因があります。接続機器や接続のしかたを確認してください。
	SD カードが正しく挿入されていますか？	SD カードを確認してください。
	サンプル音を鳴らそうとしている場合、サンプルのパッドが点灯していますか？	点灯しているパッドを押すと、サンプルが鳴ります。消灯しているパッドはサンプルが割り当てられていません。
	サンプルのレベルが下がっていませんか？	サンプルのレベルを調節してください（P. 19）。
	エフェクトのレベルが下がっていませんか？	エフェクトの種類によっては、コントロールつまみでレベルを調節できるものがあります。エフェクトの種類とコントロールつまみの対応については、「エフェクト一覧」(P.42) をご覧ください。
LINE IN 端子に接続した機器の音が出ない/小さい	出力ゲイン (OUTPUT GAIN) が小さくなっていませんか？	出力ゲイン (OUTPUT GAIN) の設定を確認してください (P. 39)。
	[EXT SOURCE] パッドは点灯していますか？	[EXT SOURCE] パッドを押して点灯させてください。
	LINE IN 端子に接続した機器のボリュームが下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。
	オーディオ・ケーブルは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	オーディオ・ケーブルは断線していませんか？	ケーブルを交換してください。
	抵抗入りのオーディオ・ケーブルを使用していますか？	抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。
	入力ゲイン (INPUT GAIN) が小さくなっていませんか？	入力ゲイン (INPUT GAIN) の設定を確認してください (P. 39)。

トラブル	確認事項	対処
マイクの音が出ない/小さい	[MIC] ボタンは点灯していますか？	[MIC] ボタンを押して点灯させてください。
	MIC IN のレベルが下がっていませんか？	[MIC IN] つまみを回して、適正なレベルに調節してください。
	マイク・ケーブルは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	マイク・ケーブルは断線していませんか？	ケーブルを交換してください。
マイクがノイズを拾ってしまう	[MIC IN] つまみのレベルはゼロまで絞切りすることはできません	マイクを使用しないときは [MIC] ボタンをオフにしておいてください。
ハウリング音 (キーンという音) が出る	マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音 (キーンという音) が出ることがあります。その場合は、次のように対処してください。	1. マイクの向きを変える。 2. マイクをスピーカーから遠ざける。 3. 音量を下げる。
	SD カードの容量が不足していませんか？	不足している場合、サンプリングしようすると [FUL] (MemoryFull) と表示されます。不要なサンプルを削除して、空き容量を増やしてください (P. 21)。
	SD カードは正しく挿入されていますか？	SD カードが正しく挿入されていることを確認してください (P. 10)。
サンプリングできない	SD カードは正しくフォーマットされていますか？	SD カードを SP-404SX でフォーマットしてください (P. 35)。
	すべてのパッドにサンプルが割り当てられていますか？	空いているパッドがないとサンプリングができません。不要なサンプルを削除して、パッドに空きを作ってください (P. 21)。
	[PATTERN SELECT] ボタンが点灯していますか？	[PATTERN SELECT] ボタンが点灯していると、パターン録音として動作するため、サンプリングはできません。[PATTERN SELECT] ボタンを押して、ボタンを消灯させてください。
	[DEL] ボタンが点灯/点滅していませんか？	[DEL] ボタンが点灯/点滅中はサンプルの削除動作となり、サンプリングはできません。[CANCEL] ボタンを押してください (P. 21)。
サンプリングした音に雑音やひずみが多い	入力レベルは適切ですか？	入力レベルが高すぎるとサンプリングした音がひずみ、逆にレベルが低すぎると雑音が目立つようになります。PEAK ランプがときどき点灯するぐらいに接続した機器のボリュームを調節してください (P. 19)。
	エフェクトの設定は適切ですか？	エフェクトの種類によっては、元のサンプルよりもレベルを大きくしたり、音そのものを歪ませる効果を持つものがあります。また、ノイズを強調する効果を持つものもあります。一度エフェクトをオフにして、元のサンプル自体に雑音やひずみがないことを確認してからエフェクトの設定を適切なものに変更してください。
	同時に複数のサンプルを鳴らしていませんか？	1 つ 1 つのサンプルのレベルが適切であっても同時に複数のサンプルを鳴らした場合は、全体のレベルが上がりすぎて歪むことがあります。それぞれのサンプルのレベルを下げて、歪まないようにしてください。
音が止まらなくなった!!		[CANCEL] ボタンを素速く 4 回連続で押してください。SP-404SX のすべての音をストップすることができます。
BPM の表示値がおかしい	サンプリングした時間が複数小節の場合や 1 小節に満たない場合は、BPM の表示値が 2 倍や半分になることがあります。	[TIME / BPM] ボタンを押して点灯させ、[CTRL 2] (BPM) つまみを回して希望の値に補正してください。『サンプルの BPM を変更する』(P.30) をご覧ください。
	範囲の長さが 3 拍になる場合など、設定によっては正確な BPM 値を計算/補正できないことがあります。	
SD カードを挿入しても認識されない/データが選べない	SD カードは正しく挿入されていますか？	SD カードを確認してください。
	SD カードの種類は合っていますか？	動作確認済み SD カードまたは SDHC カードをご使用ください。最新の動作確認情報はローランド・サポート・ページの「製品別サポート (SP-404SX)」にご案内しています。 http://www.roland.co.jp/support/
	SD カードは正しくフォーマットされていますか？	SP-404SX でフォーマットした SD カードしか使用できません。SD カードをフォーマットしてください (P. 35)。
SD カードにデータが正しく保存されていない	SD カードにデータを書き込んでいる途中 (ディスプレイのドットが点滅中) に電源を切ったことが考えられます。失われたデータは復元できません。	この状態では、SD カード全体のデータが壊れている可能性があります。そのまま使い続けるとさらに異常な動作をする恐れがありますので、SD カードをフォーマットしてください (P. 35)。フォーマットすると、SD カードのデータはすべて失われます。
外部 MIDI 機器のテンポにパターン・シーケンサーが同期しない	パターン・シーケンサーが同期するように正しく設定されていますか？	設定を確認してください (P. 47)。
	外部 MIDI 機器が MIDI クロックを送信するように設定されていますか？	機器によっては、MIDI クロック送信の設定 (オン/オフ) を持つものがあります。また、外部シーケンサーなどの機器によっては、その機器が再生中の場合のみ MIDI クロックを送信するようなものもあります。
	外部 MIDI 機器のテンポが、SP-404SX の同期可能なテンポの範囲を超えていませんか？	SP-404SX で同期可能なテンポの範囲は 40 ~ 200 です。それを超えたテンポでは、正しく同期しないことがあります。

MIDI について

MIDI について

MIDI は、Musical Instrument Digital Interface (ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス) の略で、電子楽器やパソコンなどの間で演奏情報などをやりとりすることができる統一規格です。

『MIDI インプリメンテーション・チャート』(P.48) は、SP-404SX が受信できる MIDI メッセージを簡単に確認できる表です。他の MIDI 機器と SP-404SX の MIDI インプリメンテーション・チャートを確認し、対応している MIDI メッセージをお使いください。

MIDI チャンネル (Pad Base Ch.) とノート・ナンバー

外部 MIDI 機器から SP-404SX のサンプルを再生する場合は、以下の MIDI チャンネル、ノート・ナンバーを使用してください。

Note	Note #	MIDI Ch	
		Pad Base Ch	Pad Base Ch+1
A2#	46 (0x2E)	EXT SOURCE	
B2	47 (0x2F)	[A] Pad1	[F] Pad1
A3#	58 (0x3A)	Pad12	Pad12
B3	59 (0x3B)	[B] Pad1	[G] Pad1
A4#	70 (0x46)	Pad12	Pad12
B4	71 (0x47)	[C] Pad1	[H] Pad1
A5#	82 (0x52)	Pad12	Pad12
B5	83 (0x53)	[D] Pad1	[I] Pad1
A6#	94 (0x5E)	Pad12	Pad12
B6	95 (0x5F)	[E] Pad1	[J] Pad1
A7#	106 (0x6A)	Pad12	Pad12

MIDI チャンネル (Pad Base Ch.) の変更方法

1. [FUNC] ボタンを押しながら、パッド [9] (MIDI CH) を押します。
2. [CTRL 3] つまみを回して MIDI チャンネルを指定します。
3. [REC] ボタンを押して設定を保存します。

メモ

電源を切った後も、この設定は変わりません。

外部 MIDI 機器に同期させる

1. [FUNC] ボタンを押しながら、パッド [10] (MIDI SYNC) を押します。
2. [CTRL 3] つまみを回して MIDI 同期モードを選びます。

MIDI 同期モード	説明
Auto Sync (Auto Sync)	MIDI クロックが入ると自動的に検出してテンポ同期します。また、MIDI スタート/ストップ/コンティニューを受信してパターンを演奏開始/停止します。パターンの録音中は、MIDI スタート/ストップ/コンティニューを受信しません。
Tempo Sync (Tempo Sync)	MIDI クロックが入ると自動的に検出してテンポ同期します。なお、MIDI スタート/ストップ/コンティニューを受信しません。シーケンサーから送信される演奏に合わせて、SP-404SX のパターンを後から好きなタイミングで演奏し、2 つの演奏を重ねたいような場合を選びます。
Sync OFF (Sync OFF)	MIDI クロック/スタート/ストップ/コンティニューを受信しません。シーケンサーから送信されるノート情報によって、SP-404SX のサンプルだけを鳴らしたいときに選びます。

工場出荷時は、「Auto Sync」に設定されています。

3. [REC] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

メモ

電源を切った後も、この設定は変わりません。

パターンのテンポと演奏開始/停止を外部シーケンサーに同期させる

工場出荷時の SP-404SX (MIDI 同期モードが「Auto Sync」) は、外部シーケンサーと MIDI 接続することでパターンの演奏開始/停止およびテンポをシーケンサーからコントロールすることができます。

1. シーケンサーの MIDI OUT と SP-404SX の MIDI IN 端子を、MIDI ケーブルで接続します。
2. [PATTERN SELECT] ボタンを押して点灯させます。
3. [HOLD] パッドを押しながら、演奏させたいパターンのパッドを押します。
[HOLD] パッドを押さずにパッドだけを押し、いきなりパターンの演奏が始まってしまいます。
4. シーケンサーをスタートすると、同期して指定したパターンの演奏が始まります。

シーケンサーをスタートさせてもパターンの演奏が始まらない場合、またはテンポが同期しない場合は、シーケンサーから MIDI クロックやスタート/コンティニュー/ストップが送信されていない可能性があります。シーケンサーの取扱説明書をご覧ください。シーケンサーの設定を確認してください。

MIDIインプリメンテーション・チャート

Model SP-404SX

Date : July 01, 2009

Version : 1.00

ファンクション...	送 信	受 信	備 考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	× ×	1~16 1~16	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	× × *****	モード3 ×	
ノート ナンバー : 音域	× *****	46~106 46~106	
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	× ×	○ ×	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンド	×	×	
コントロール チェンジ	×	×	
プログラム チェンジ : 設定可能範囲	× *****	×	
エクスクルーシブ	×	×	
: ソング・ポジション コモン: ソング・セレクト : チューン	× × ×	○ × ×	*1
リアル : クロック タイム : コマンド	× ×	○ ○	*2 *1
その他 : オール・サウンド・オフ : リセット・オール・コントローラー : ローカルON/OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : システム・リセット	× × × × × × ×	○ × × × ○ ○ ×	*3
備考	*1 Sync ModeがAUTOのとき受信します。 *2 Sync ModeがAUTOまたはTEMPOのとき受信します。 *3 チャンネルに関係なくすべての発音を消音します。		

モード1: オムニ・オン、ポリ
モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ
モード4: オムニ・オフ、モノ

○: あり
×: なし

主な仕様

SP-404SX : サンプラー

最大同時発音数	12音																
記憶可能データ	サンプル：120 (12 サンプル × 10 バンク) (SD カード上に記録) パターン：120 (12 パターン × 10 バンク) (SD カード上に記録)																
サンプリング時間 (全サンプルの合計時間)	ひとつのサンプルの最大サンプリング時間 (容量) はステレオで約 180 分 (2GB) です。 ひとつの SD カードに収録できるサンプルのサンプリング時間合計の目安は次のとおりです。 <table border="1"><thead><tr><th>カード容量</th><th>ステレオ (モノ)</th><th>カード容量</th><th>ステレオ (モノ)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1GB</td><td>約 90 分 (180 分)</td><td>8GB</td><td>約 720 分 (24 時間)</td></tr><tr><td>2GB</td><td>約 180 分 (360 分)</td><td>16GB</td><td>約 24 時間 (48 時間)</td></tr><tr><td>4GB</td><td>約 360 分 (720 分)</td><td>32GB</td><td>約 48 時間 (96 時間)</td></tr></tbody></table> <p>SP-404SX 同梱の 1GB SD カードにはプリロード・データが含まれますので、上記のサンプリング時間よりも短くなります。</p>	カード容量	ステレオ (モノ)	カード容量	ステレオ (モノ)	1GB	約 90 分 (180 分)	8GB	約 720 分 (24 時間)	2GB	約 180 分 (360 分)	16GB	約 24 時間 (48 時間)	4GB	約 360 分 (720 分)	32GB	約 48 時間 (96 時間)
カード容量	ステレオ (モノ)	カード容量	ステレオ (モノ)														
1GB	約 90 分 (180 分)	8GB	約 720 分 (24 時間)														
2GB	約 180 分 (360 分)	16GB	約 24 時間 (48 時間)														
4GB	約 360 分 (720 分)	32GB	約 48 時間 (96 時間)														
データ・フォーマット	16 ビット・リニア (.wav / aiff)																
サンプリング周波数	44.1kHz																
パターン・シーケンサー	最大記録音数：約 16,000 音 分解能：96 ティック / 4 分音符 パターン小節長：1 ~ 99 小節 レコーディング方法：リアルタイム・ループ・レコーディング (シャッフル・クオンタイズ可)																
エフェクト	29 種類																
パッド	12 個 + サブ・パッド × 1																
コントローラー	コントロールつまみ × 3																
ディスプレイ	7 セグメント 3 桁 (LED)																
内蔵マイク	モノ × 1																
接続端子	LINE IN 端子 (L, R) (RCA ピン・タイプ) LINE OUT 端子 (L, R) (RCA ピン・タイプ) PHONES 端子 (ステレオ標準タイプ) MIC IN 端子 (標準タイプ) MIDI IN 端子 DC IN ジャック SD カード・スロット																
電源	DC9V (AC アダプター、充電式ニッケル水素電池単 3 形 × 6 またはアルカリ乾電池単 3 形 × 6) ※ 電池別売																
連続使用時の電池の寿命	充電式ニッケル水素電池：約 5 時間 アルカリ乾電池：約 4 時間 ※ 使用状態によって異なります。																
消費電流	450mA																
外形寸法	177.6 (幅) × 256.7 (奥行) × 72.1 (高さ) mm																
質量	1.2kg (乾電池を除く)																
付属品	SD カード (1GB) SP-404SX UTILITY CD-ROM AC アダプター PSB-1U 取扱説明書 保証書 ローランド ユーザー登録カード																

* 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

欧字

A

AC アダプター 8
AIFF 25、35
AUTO TRIG LEVEL 25

B

BACKUP LOAD 37
BACKUP SAVE 37
BPM 15

C

CANCEL ボタン 12
CARD LOCK ネジ 10
COPY 31

D

DC IN ジャック 8
DELAY 42
DEL ボタン 21、30
DJFX LOOPER 42

E

EFFECT GRAB 13
EFFECT LIMIT 42
EXCHANGE 31
EXT SOURCE ボタン 24

F

FILTER+DRIVE 42
FUL 20
FUNC ボタン 39

G

GATE ボタン 12

H

HOLD パッド 12

I

IMPORT 36
INPUT GAIN 39
ISOLOTOR 42

L

LENGTH ボタン 32
LINE IN 端子 16
LO-FI ボタン 12
LOOP ボタン 12

M

MARK ボタン 27
MFX 13、42
MIC IN 端子 17
MIC LEVEL つまみ 19
MIC ボタン 17
MIDI 47
MIDI CH 47
MIDI SYNC 47

O

OUTPUT GAIN 39

P

PATTERN SELECT ボタン 14、32
PAUSE 12
PEAK ランプ 19
POWER スイッチ 9

Q

QUANTIZE ボタン 32

R

REC ボタン 18
REMAIN ボタン 13
REVERSE ボタン 12

S

SD カード 10、22、35
SD カードのフォーマット 35
SP-404SX Wave Converter 22
START / END / LEVEL ボタン 27
STEREO ボタン 18
SUB PAD パッド 12

T

TAP TEMPO ボタン 15
TIME / BPM ボタン 15

V

VOICE TRANS 42
VOLUME つまみ 9

W

WAV 25、35
WAVE ファイル 22、35、36

かな

あ

アース 8
アルカリ乾電池 6

え

エフェクト 13、42
エフェクト・リミット・モード 42
エラーメッセージ一覧 45
エンド・ポイント 27

お

オート・サンプリング 25

か

外部入力 24

き

機能接地端子 8

く

クオンタイズ 32

さ

サンプリング 16、25
サンプリング時間 25
サンプル 11
サンプル設定 12
サンプルの音量 27
サンプルの再生範囲 27
サンプル・バンク 11

し

シャッフル・クオンタイズ 32
出力ゲイン 39
初期化 35

す

スタート・ポイント 27
ステレオ 18
スピーカー 8
スリープ 40

た

ターン・テーブル 16
タイム・モディファイ 30

て

ディスプレイ・イルミネーション 19、40
電源 9
電池 6
電池の種類 6
電池の残り容量 6
テンポ 15

と

盗難防止用ロック 5
トラブルシューティング 45
トランケート 29

な

内蔵マイク 17

に

ニッケル水素電池 6
入力ゲイン 19、39

は

バージョン情報 40
パソコン 22、35
パターン 14
パターン・シーケンサー 32
パターン・バンク 14
バックアップ・セーブ 37
バックアップ・デリート 37
バックアップ・ロード 37

ふ

ファクトリー・リセット 40
フォーマット 35
プロテクト 38

へ

ヘッドホン 8

ほ

ホールド 12

り

リサンプリング 26

る

ループ再生 12

ろ

録音レベル 19

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

△ 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
△ 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

△ 警告

この機器および AC アダプターを分解したり、改造したりしないでください。

修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ほこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所

この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

△ 警告

次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。

- AC アダプター本体、電源コード、またはプラグが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視/指導してあげてください。

この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット/アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

電池は、充電、加熱、分解したり、または火や水の中に入れてたりしないでください。

CD-ROM を、一般のオーディオ CD プレーヤーで再生しないでください。大音量によって耳を痛めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

電池を、日光、炎、または同様の過度の熱にさらさないでください。

△ 注意

この機器と AC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

定期的に AC アダプターを抜き、乾いた布でプラグ部分のゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。AC アダプターとコンセントの間にゴミやほこりがたまる、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

△ 注意

接続したコードやケーブル類は、緊雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

濡れた手で AC アダプターのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

この機器を移動するときは、AC アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

お手入れをするときには、電源を切って AC アダプターをコンセントから外してください（P. 9）。

落雷の恐れがあるときは、早めに AC アダプターをコンセントから外してください。

電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください（P. 6）。

- 電池の + と - を間違えないように、指示どおり入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですすぐに水でよく洗い流してください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。

使用済みの電池は、各市町村のゴミ分別収集のしかたに従って、捨ててください。

取り外した機能接地端子のネジ（P. 8）、CARD LOCK ネジ（P. 10）、SD カードは、小さなお子様か誤って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。

使用上のご注意

電源について 電源、電池のセットや交換について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- ACアダプターを長時間使用するとACアダプター本体が多少発熱しますが、故障ではありません。
- この機器は消費電流が大きいので、ACアダプターの使用をお勧めします。電池で使用する場合はニッケル水素電池を使用してください。
- 電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前にこの機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては本機のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器やACアダプターを分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容は、SDカードに保存するか、記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはヨーロッパお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップとしてSDカードに保存しておいてください。
- SDカードの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかけられないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合は、各地域のゴミの分別基準に従って行ってください。
- 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、まったく聞こえなくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCSシリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合、ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

SDカードをお使いになる前に SDカードの取り扱い

- SDカードは、確実に奥まで差し込んでください。
- SDカードの端子の部分に触れたり、汚したりしないでください。
- SDカードは精密な電子部品で作られていますので、取り扱いについては次の点に注意してください。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
 - 端子部に手や金属で触れない。
 - 曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない。
 - 直射日光の当たる場所や、閉め切った自動車の中などに放置しない。（保存温度：-25度～85度）
 - 水に濡らさない。
 - 分解や改造をしない。

CD-ROMの取り扱い

- ディスクの裏面（信号面）に触れたり、傷をつけたりしないでください。データの読み出しがうまくいかないことがあります。ディスクの汚れは、市販のCD専用クリーナーでクリーニングしてください。



著作権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画あるいは複製し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本機を使用しないでください。あなたが本機を用いて他者の著作権を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。
- 本体に内蔵のパターン／サンプルの著作権は当社が保有しています。お客様が新たな作品の制作のために、これらのパターン／サンプルやそのフレーズを使用されることに関しては当社の許諾を必要としません。ただし、パターン／サンプルやそのフレーズの一部または全部を複製し、複製物（データ集等）を作成、頒布することはできません。また、お客様がこれらのパターンを使用して作成された作品が第三者の著作権を侵害しても当社は一切の責任を負いません。

SAMPLE BANK Cのサンプル、PATTERN BANK Cのパターンは、ueberschal社の協力により作成されています。

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- 本書ではMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。
- Mac OSは、米国Apple Inc.の登録商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- Fugue ©1999-2009 Kyoto Software Research, Inc. All rights reserved.



- SDロゴ（）及びSDHCロゴ（）はSD-3C, LLCの商標です。
- 株式会社ユアネームのデジタルフォントを使用しています。
- デジタルフォントの著作権は株式会社ユアネームにあります。
- 文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせの窓口

- 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～土曜日 10:00～17:30（年末年始を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

Roland

